

リアホサ

家族の中に神権の力が
しっかりと備えられています,
28ページ

ヤングアダルトのためのセンター——
集まり、学び、友達を作る場所,
42ページ

わたしは十分に分かっていますか,
48ページ

メラニーは真の友達でした,
60ページ





© 2011 JAMES C. CHRISTENSEN. 版權所有 THE GREENWICH WORKSHOP, INC. 所有權保留

「徳」 ジェームズ・クリステンセン

「絶えず徳であなたの思いを飾るようにしなさい。そうするときに、
神の前においてあなたの自信は増し、……聖霊は常にあなたの伴^{ほんりょ}侶とな[る]。』(教義と聖約 121:45 - 46)

トーマス・S・モンソン大管長が徳についてこのように言いました。

「現代の考え方を受け入れている人々の中で、純潔を守り、徳高くあるには、大きな勇気が必要です。」

(「勇気を持てるように」『リアホナ』2009年5月号, 125)



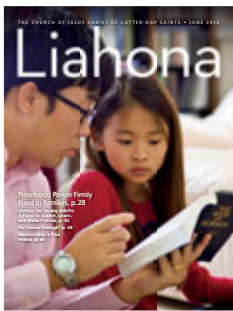
リアホナ 2012年6月号

メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
神から召され、
人々から支持される
ヘンリー・B・アイリング管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
家庭訪問、神聖な割り当て

表紙

表紙——フォトイラストレーション/
クレグ・ダイヤモンド
裏表紙——「メルキゼデク神権の回復」
ウォルター・レーン画、©IRI



特集

- 13 安息日を聖く守る喜び
マルコス・A・アイトカイトイス長老
休暇中も教会を絶対に休まな
かったので、素晴らしいことが起
こりました。
- 20 促しに従って行動する
生活の中での御霊の影響に気づ
いていますか？
- 28 神権の誉れと位
ボイド・K・パッカー会長
神聖な神権についての使徒の教
えと証

シリーズ

- 8 小さな、簡単なこと
- 10 わたしたちが信じていること——
断食によって
霊的、肉体的に強められる

- 12 教会での奉仕——
青少年主導の奉仕が持つ可能性
ノーマン・C・ヒル
- 16 福音クラシック——
選択の自由と靈感
ブルース・R・マッコンキー長老
- 24 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
結婚生活でともに評議する
ランディー・キーズ
- 38 末日聖徒の声
- 74 教会のニュース
- 79 家庭のタベのためのアイデア
- 80 また会う日まで——
雷のような声、静かな声
クリスティン・ボイス



42

42 信仰を一つにして集う

ステファニー・J・バーンス

ヤングアダルトのためのセンターは、社交活動や一致することを経験したり、福音を学んで分かち合ったりする場所になりました。

34 あなたのアロン神権の義務

ポール・バンデンバーク

執事と教師と祭司の責任は何でしょうか。

46 質疑応答

福音に従って生活するためにしなければならないあらゆることについて考えると、圧倒されそうになることがあります。何から始めたらよいでしょう。

48 あなたは十分に知っています

ニール・L・アンダーセン長老

自分の霊的な知識に限りがあると感じるのであれば、自覚しているよりもっと多くのことを知っているかもしれません。

50 伝道のためのタイムアウト

エリス・アレクサンドリア・ホームズ

18歳のとき、ウィリアム・ホポエイトはプロのラグビー選手としての契約を提示されました。彼は下すべき決断がありました。

53 伝道地から——

霊的な癒しの奇跡

エリザベス・スティット

54 ポスター——

謙虚になってひざまずく

55 教えに教え——

教義と聖約 135 : 3

56 わたしは選択により

どこに至るのでしょうか

アダム・C・オルソン

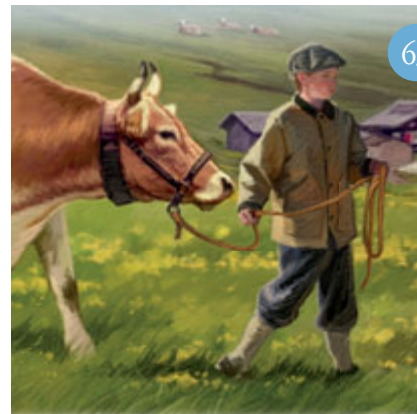
カーリーは過去の選択のせいで正しい道からそれてしまいました。でも新しい選択がカーリーをもとの道に戻してくれました。

58 より良い模範

シャニーン・クロワード

痛い経験が、わたしにもっと教会の指導者に耳を進んで傾けるように教えてくれました。

56



63

60 ほんとうの友達

サラ・チャウ

真の友達は戒めを守るようにお互いを助け合います。

62 わたしたちのページ

63 勤労から得られる祝福

ベア・G・マーム長老

体を使って正直に働くことは、正しいことを行う一つの方法です。

64 しょうきょうかいを かていても

——わたしは ふくいんの

げんそくを まもって

生活することで

せいぎを えらびます

66 カーリーのための運動場

チャド・E・ファレス

カーリーは人を助けることが上手です。カーリーの友達もカーリーを助けることにしました。

68 リトルリーグから学んだこと

リンゼー・スティープンズ

リンゼーは弟をはげますことを学びます。

70 ちいさな おともだちへ

81 モルモン書に 出てくる

じんぶつなどの 絵

今月号の中に
隠れているリアホナを
探しましょう。
ヒント——
最善を尽くして
探しましょう。



リアホナ 2012年6月号
第14巻6号(10486300)

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ディーター・F・ワークトドルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・パッカー, L・トム・ベリー, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン

編集長: ポール・B・パイパー

顧問: キース・R・エドワーズ, クリストフェル・ゴールデン・ジュニア, ペア・G・マーム

実務運営ディレクター: デビッド・L・フリッシュニク

編集ディレクター: ピンセント・A・ボーン

グラフィックスディレクター: アラン・R・ロイボーク

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ジェニファー・L・グリーンウッド, アダム・C・オルソン

共同編集者: スーザン・パレット, ライアン・カー

編集スタッフ: プリタニー・ピーティエ, デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ラリソン・ポーター, ガント, キャリー・カステン, ジェニファー・マディー, リア・マクラナハン, メリッサ・メリル, マイケル・R・モリス, サリー・J・オデカーク, ジョシュア・J・パーキニー, チャド・E・ファレス, ジャン・ピンボロー, ポール・バンデンバーク, マリッサ・A・ウイティンソン, メリッサ・ゼンテノ

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: スコット・バン・カンペン

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

主任デザイナー: C・キンボール・ボット, コリー・ヒンクレイ, エリック・P・ジョンソン, スコット・M・ムーイ

制作スタッフ: コレット・ネベカー・オーズ, コニー・ボウソープ・ブリッジ, ハワード・G・ブラウン, ジュリー・バーデット, レジナルド・J・クリステンセン, プライアン・W・ギューギ, キャスリーン・ハワード, デニス・カービー, ギニー・J・ニコルソン

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: エバン・ラーセン

日本語版翻訳課長: デレック・リン・ウェスマン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 830円(送料共)
普通号/大会号 120円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ liahona.lds.org からお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA
電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, キリジャ語, ハンガリー語, アイランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語 (発行頻度は言語により異なります。)

©2012 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール — cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

June 2012 Vol. 36 No. 6. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

インターネットで得られる追加情報

Liahona.lds.org [英語]

青少年

48ページにあるニール・L・アンダーセン長老の記事が気に入ったならば、**conference.lds.org** で教説全部を聞くことができます。2008年10月の総大会を検索してみてください。

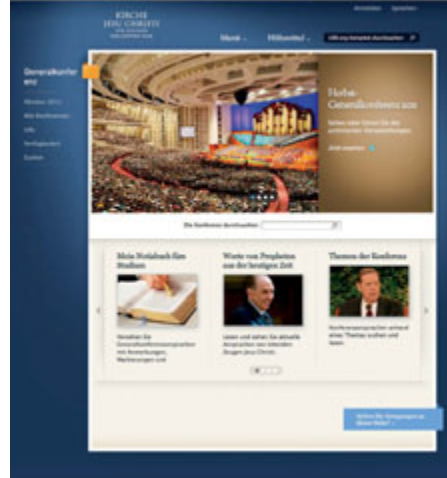
こども

カーリー(66ページ)について読み、新しい運動場での彼女の遊びを **liahona.lds.org** で見てください。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- 愛, 66, 68
- あかし証, 48
- 安息日, 13
- 一致, 42
- 祈り, 54
- 家族, 68
- 家庭訪問, 7
- 教会指導者, 4, 28, 58
- 悔い改め, 56
- 結婚, 24
- 支持する, 4
- 従順, 13, 56, 58, 60
- しんがく 什分の一, 64, 73
- 祝福, 70, 72
- 神権, 28, 34, 70
- 信仰, 48, 70
- スミス, ジョセフ, 54, 55
- 青少年, 12
- 聖霊, 16, 20, 80
- 選択の自由,



あなたの言語で

www.languages.lds.org で、「リアホナ」や教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

大管長会第一顧問
ヘンリー・B・
アイリング管長

神から召され、 人々から支持される

教 会員として、わたしたちは奉仕の召しを受けた人を支持するように求められることがよくあります。何年も前、ある18歳の学生から、主の僕を支持するとはどういう意味かを教わりました。その謙遜さに満ちた模範によって、わたしは今もお祝福を受けています。

その兄弟は大学に入学したばかりでした。バプテスマを受けて1年足らずで、家族を離れて大きな大学に通い始めたところでした。大学で、わたしは彼のビショップを務めていました。

学年初めに、ビショップ室で彼と短く面接しました。新たな場所で直面している課題を話してくれたことのほか、その初めての会話についてはほとんど覚えていません。しかし、2度目の会話のことは決して忘れないでしょう。

話がしたいとのことで、ビショップ室で会いました。「一緒に祈ってもらえますか。ほくが祈ってもいいですか」と言うので驚き、「わたしはもう祈ったし、あなたも祈ってきたでしょうから」と言おうとしましたが、同意しました。

祈りの中で、彼はまずビショップが神から召されていることを知っていることと証しました。その後、霊的に重大な結果をもたらすであろう問題に関して、自分のなすべきことをわたしに告げてくださいよう神に願い求めました。ビショップは自分が必要としていることをすでに知っていて、自分に必要な助言を授かると確信していると、その若者は神に言いました。

彼の言葉を聞いていたとき、この学生が直面しようとしている危険がわたしの心に具体的に浮かびました。簡潔ですがとてもはっきりと、次のような助言を授かりました。「常に祈り、戒めに従い、恐れなください。」

自分たちを導くように召されている指導者を信仰と祈りによって支えるとき、神がその指導者を使ってどのようなことをなさるか、教会員になって1年のその若者は模範によって教えてくれました。教会員の同意の律法が持つ力を示してくれたのです(教義と聖約26:2参照)。主の僕は啓示によって主から召されますが、自分が仕えるように召されている人々から支持されて初めて、務めを果たすことができるのです。

わたしたちは賛意の表明をすることによって、厳粛な約束を交わします。主の僕たちのために祈り、主が彼らを導き、強めてくださるように祈ると約束します(教義と聖約93:51参照)。彼らから助言を受けたときや、彼らとその召しにおいて行動するときにはいつでも、神からの靈感を得ようと努め、靈感を待ち設けると誓います(教義と聖約1:38参照)。

その約束を、わたしたちは心の中で度々新たにする必要があります。皆さんの日曜学校の教師は御霊によって教えるようとするでしょうが、皆さんもそうであるように、生徒の前で間違えることがあるかもしれません。それでも皆さんは、耳を傾けて、靈感を受けられる瞬間を待とうと決意することができます。そうすると、そのうち間違いにあまり気づかなくなり、神が教師を支えておられることを示す証拠にもっと頻繁に気づくようになるでしょう。

わたしたちはだれかを支持するために手を挙げるとき、その人が召しにおいて成し遂げるべき主の目的が何であろうと、自分もそのために働くことを誓います。子供たちが小さかったころ、妻がワードの幼い子供たちを教えるように召されました。わたしは妻を支持するために手を挙げただけでなく、妻のために祈り、その後、妻を手伝う許可を求め



した。女性の働きに対する感謝と子供たちに対する主の愛について受けた教えは、今でもわたしの家族と、わたしの生活に祝福をもたらしてくれています。

最近、何年も前にビショップを支持したあの若者と話しました。彼が主に支えられ、人々から支持されて、宣教師として、ステーク会長として、そして父親として召しを果たしてきたことを知りました。彼は最後にこう言ってくれました。「今でもあなたのために毎日お祈りしています。」

わたしたちは自分たちに仕えるよう神から召されている人のために毎日祈ろうと決意することができます。奉仕によって祝福をもたらしてくれた人に感謝することができます。自分の支持した人がだれかを必要としたときには名乗り出ようと決意することができます。¹

主の王国で主の僕たちを支持する人々は、主のたぐい
ない力によって支えられるでしょう。わたしたちは皆、
その祝福を必要としています。■

注

1.『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』211 - 212 参照

このメッセージから教える

このメッセージを紹介した後、次の言葉を読むとよいでしょう。「あなたが謙遜で、忠実で、勤勉であれば、主はあなたを御手の器としてくださるであろう。……会衆から支持を受け、任命されると、さらに大きな力を受ける。」（『教師、その大いなる召し』20）家族に重い物の周りに集まってもらい、だれかにそれを持ち上げてみてもらいます。別の一人に持ち上げるのを手伝ってもらい、手伝いを一人ずつ増やしていきます。全員が手伝うときにどのようなことが起こるか話し合います。召しを受けた人を支持するために実践できる方法について、アイリング管長の助言を強調するとよいでしょう。

日曜学校教師のおかげで

匿名

わたしの日曜学校のクラスは必ずしも敬虔ではありませんが、わたしは毎週レッスンを聞くのがとても楽しいのですが、クラスのほかの人たちはそうでないように思えることがあります。教師が教えようとしているときに、おしゃべりをしたり、電子機器でゲームをしたりすることがよくあります。残念なことに、わたし自身も問題の一端となることがあります。

ある週、わたしたちは普段以上にひどい状態で、クラスの終わりには、だれもレッスンに耳を傾けようとしないので教師の姉妹が泣いてしまいました。わたしは教室を出ながら、そんな教師のことを気の毒に思いました。

次の日曜日のことです。教師の姉妹は1週間ずっと導きを祈り求めて、教会のあるビデオを見せる必要があるという思いが浮かんだと説明しました。そしてビデオが始まりました。イエス・キリストの生涯と、主が行われた奇跡についてのビデオでした。

その晩、レッスンで見たビデオについて考えていたとき、何かいつもと違うものを感じました。そして突然、それまで経験したことがないほど御霊を感じていることに気づきました。もっと救い主のようになるために生活を変えたいと即座に決意しました。その日に日曜学校で経験したことのおかげで証がとても強まったことを悟りました。日曜学校教師と、彼女が毎週わたしたち生徒のために行ってくれるすべてのことにとても感謝しています。

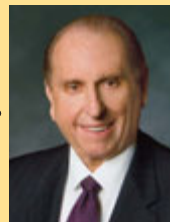


支持するとは手伝えるという意味です

わたしたちはだれかを支持するために手を挙げるとき、その人が召しをはたすのを手伝えると約束していると、アイリング管長は言っています。

上の子供たちの中で、指導者や教師を支持しているのはだれですか。

- わたしたちが支持する人には、預言者、ビショップリックや支部会長、ワードや支部の伝道主任、初等協会の教師、初等協会の指導者などがいます。
- これらの人々を支持するためにあなたにできることを書き出すか、両親と話し合みましょう。





祈りをもってこの資料を学び、必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、あなた自身の生活の中で扶協協会を生かすようにしてください。

信仰・家族・扶助

家庭訪問、 神聖な割り当て

訪問教師として、わたしたちには霊にかかわる、果たすべき大切な使命があります。「ビショップはワードの羊飼いとて聖任されていますが、主のすべての羊を同時に見守ることはとてもできません。靈感を受けた訪問教師の助けを頼りにしています。」¹ それぞれの姉妹を見守る割り当てをだれに与えればよいかについて、啓示を求め、受けることがきわめて重要です。

扶協協会会長が個人と家族の必要について祈りの気持ちで話し合うとき、靈感による働きが始まります。次に、ビショップの承認を受けて、扶協協会会長は割り当てを与えます。その際、家庭訪問が霊にかかわる大切な責任であることを姉妹たちが理解できるように助けます。²

訪問教師は真心から姉妹一人一人を知り、愛し、信仰を深めるのを助け、必要ときに奉仕を行います。訪問先のそれぞれの姉妹の霊的および物質的な必要に対処する方法を知るために、個人的な啓示を求めます。³

「家庭訪問は、達成率よりも人に焦点を当てたときに、主の業になります。実際のところ、家庭訪問は決して終わりがありません。これは務めというよりも、生き方なのです。」⁴



聖文から

マタイ 22:36 - 40; ヨハネ 13:34 - 35; アルマ 37:6 - 7

注

1. ジュリー・B・ベック「扶協協会——神聖な業」『リアホナ』2009年11月号, 113
2. 『手引き 第2部——教会の管理運営』(2010年) 9.5: 9.5.2 参照
3. 『手引き 第2部』9.5.1 参照
4. ジュリー・B・ベック「リアホナ」2009年11月号, 113 - 114
5. エライザ・R・スノー『わたしの王国の娘——扶協協会の歴史と業』107 - 108 で引用
6. エライザ・R・スノー『わたしの王国の娘』46 で引用

わたしたちの歴史から

第2代中央扶協協会会長であるエライザ・R・スノーは次のように教えています。「わたしは、教師の務めは気高く、聖なる務めだと思えます。」そして訪問教師たちに、物質的な必要とともに霊的な必要も確かめて満たすことができよう、家庭を訪れる前に「神の御霊と、知恵と謙遜と愛の精神に満たされているように」と助言しました。スノー会長は次のように述べています。「平安と慰めの言葉を語りたいと感じることでしょう。そして姉妹が寒さを覚えているのを知ったときには、子供を抱き締めて温めるようにその姉妹を温かく受け入れたいと感じることでしょう。」⁵

初期の扶協協会の姉妹たちのように信仰をもって出て行くとき、聖霊を受け、訪問先のそれぞれの姉妹をどのように助ければよいかを靈感によって知ることでしょう。スノー姉妹は次のように述べています。「力ではなく知恵を求め[てください]。そうすれば、自分が持つ知恵に従って実行する力が得られるでしょう。」⁶

何ができるでしょうか?

1. 訪問教師としての大切な責任を果たす能力を伸ばすにはどうすればよいでしょうか。
2. ほかの姉妹たちが訪問教師としての責任を果たせるように、訪問教師としてどのような助けができるでしょうか。

小さな、簡単なこと

「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられるのである。」
(アルマ 37:6)

モルモンタバナクル合唱団ハイライト



モルモンタバナクル合唱団の音楽については、総大会における演奏や毎週放送されている83年の歴史を有する番組「ミュージック・アンド・スポークンワード」(Music and the Spoken Word)を通じて、世界中で何百万もの人々に親しまれています。しかし、多くの合唱団員から成る合唱団の日常の活動についてはあまり詳しく知られていません。

モルモンタバナクル合唱団は、25歳から60歳までの、無償で歌う団員360名で構成されています。ここ数年間に合唱団は28か国を旅行し、アメリカ国内だけでも37の州とワシントンD.C.で演奏してきました。彼らは通常、一団となって演奏予定地まで飛行機で移動します。空港からは11台のツアー用バスに乗って陸路を旅しますが、団員を乗せたバスの後には荷物を積んだ



バス4台と機材を運ぶセミトレーラー4台が続きます。こうして様々な都市を目指して旅が続きます。時には、目的地まで6時間から10時間かかることもあります。

旅行中、合唱団員それぞれが、合唱団のロゴと自分の名前が記された青い名札を身につけています。合唱団と管弦楽団の団員はこれまで全員が、「音楽宣教師」に任命されてきました。彼らはどこへ行っても教会を代表しているのです。

旅行中ではないとき、合唱団員の日常は、少なくとも週に1度、平日の練習日が組み込まれています。それに加えて、毎週日曜日の朝、テレビとラジオで全世界に向けて放送される番組「ミュージック・アンド・スポークンワード」(Music and the Spoken Word)の制作もあります。

教会員は合唱団への入団が召しと

合唱団にまつわる興味深い事柄

- 合唱団の女性が着るドレスは衣装委員会がデザインし縫製します。
- 合唱団とテンブルスクウェア管弦楽団には、およそ20組の夫婦がいます。
- 当合唱団はこれまでに2つのプラチナ賞と5つのゴールデン賞を獲得しています。
- 合唱団は5人の合衆国大統領の就任式で演奏しています。

同様のものであることを承知しています。入団の際に合唱団員は、ワードの長老定員会会長や扶助協会会長としての奉仕に匹敵するほどの時間が必要になることを承知しておくように言われます。いったん合唱団への入団を認められると、最高20年間(または60歳になるまで)合唱団にとどまることができます。

右「ベッレヘムへの道」の部、ジョセフ・ブリックハム©2000、「ハーハイの聖サライア」ネーサン・ビノック画「望んでいる事からを確信し」ランズ「エルスベス・ヤング画」標は禁じられています。「聖壇の前には必ず早くアダムとエバ」の一部、デル・バーン画©1988 PH.「おお、祝祭に満ちたイース」の部、ウォルター・レーン画「世にあっての香を知らず」の一部、ホルマン画「王妃エリザベス」ミネルバ・タイカー画©WILLIAM AND BETTY STOKES「マリアは主の言葉を聞いた」ウォルター・レーン画©2010、「エマ・ヘルズミ」スミス「リチャード・リチャード」リチャード・リチャード画©1941 PH.「ルック・アット」の部、コートニー・メル画©1982 左上「写真」フラス・フォトグラフィ社、その他の写真©「特記されたものを除く。オーストラリアにある「バンド」・オベパワスの外で撮影された写真」©DESEET MORNING NEWS

集会のための 音楽を選ぶ

- 集会の前に、選んだ曲が管理役員によって承認されていることを確認してください。
- 集会に備えてどの賛美歌を練習すればよいか分かるように、前もって数日前に、伴奏者と連絡を取ってください。
- 聖餐会の曲を選ぶときは、それぞれの賛美歌がもたらす雰囲気について考慮してください。開会の賛美歌は、神への賛美と福音の回復への感謝を表すものです。聖餐式の賛美歌は聖餐すなわち救い主の犠牲について思い起こさせます。閉会の賛美歌には、新たにした聖約を守ると改めて決意するよう会衆を鼓舞し、学んできた福音の原則について証する力があります。
- 扶助協会、あるいは神権会については、教師と相談してください。教師がレッスンに関連のある賛美歌を提案したいかもしれません。教師に希望する曲が特にならない場合は、指導者がレッスンのテーマを補足する賛美歌を提案することもできます。

『賛美歌』330 - 331; 『手引き 第2部——教会の管理運営』(2010年), 14.4; 14.6 参照

聖文に登場する女性について 知っていますか

聖文に登場する女性についての説明からその女性の名前が分かりますか。分からない場合は、聖句を参照してください。



A. 主の母 マリヤ



B. サライア



C. アンナ



D. エバ



E. エービシ



F. サラ



G. エステル



H. マルタの妹 マリヤ



I. エマ・スミス



J. ルツ

1. 夫は危険な旅の途上にあった息子たちのことで悲しむわたしを慰めてくれました(1ニーファイ5:1, 6 参照)。
2. わたしはラモーナイ王の家で召使いとして働き、王が改宗する何年も前からすでに主に帰依していました(アルマ19:16 参照)。
3. 夫が死んだとき、わたしはしゅうとめを「離れ[ず]」、あなたの民をわたしの民、あなたの神をわたしの神にするとしゅうとめに告げました(ルツ1:14, 16 参照)。
4. わたしの名前は新約聖書とモルモン書の両方に記されています。わたしについて「まことに色が白く美しい」また「尊い、選ばれた器」と述べられています(1ニーファイ11:13; アルマ7:10 参照)。
5. イエス・キリストがベタニヤに住んでいたわたしたち家族を訪問されたとき、わたしはイエス・キリストの言葉に耳を傾けることによって、「その良い方を[選びました]」(ルカ10:42 参照)。
6. わたしが自分の命を危険にさらしながらも民を助けてくれるよう王に嘆願したとき、わたしの民はわたしのために断食しました(エステル4:16 参照)。
7. わたしの名前は「すべて生きた者の母」という意味です(創世3:20 参照)。
8. わたしは教義と聖約の中で「選ばれた婦人」と呼ばれ、「神聖な賛美歌の選定を[し]」ました(教義と聖約25:3, 11 参照)。
9. わたしは、およそ84年間やもめ暮らしをした末に、神殿で幼な子イエスにまみえました(ルカ2:36-38 参照)。
10. 主は夫の名前を変えられたとき、わたしの名前も「王妃」を意味する名前に変えられました(創世17:15 参照)。

断食によって 霊的、肉体的に強められる

断食は旧約の時代からイエス・キリストの福音には欠かせない要素です（例えば、ダニエル 9：3；ヨエル 2：12 参照）。断食によって人は霊的に強められ、祈りの効果は高まります（イザヤ 58：6－11 参照）。今日、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は断食をし、取らなかった食事に相当する現金を教会にささげることで、貧しい人や乏しい人を助けます。

「教会は、通常第1日曜日ですが、毎月1回の日曜日を断食の日と定めています。断食日の正しい守り方には、〔24時間の間に〕続けて2食分の食べ物と飲み物を断つこと、断食証会あかしに出席すること、助けの必要な人の世話をするために役立つ断食献金をささげることが含まれます。

断食献金は少なくとも断食した2食分に相当する金額とすべきです。可能ならば、惜しみなくさらにこの額以上を差し出してください。

教会の指導者によって設けられた断食日を守ることに加えて、自分自身の必要や周囲の人々の必要に応じて、ほかの日にも断食することができます。しかし、あまりにも頻繁に、あるいは

長期間にわたって度を越えた断食をするべきではありません。』¹ 断食をすることで健康状態が悪化する恐れのあるような人は、知恵を働かせ、その方法に変更を加える必要があります。

教会員が断食する目的は様々です。例えば、家族の一員が病気のとくに断食し祈ることができます。そのほか神に感謝を表したり、さらに謙遜さを身に付けたり、弱点や罪を克服したり、教会の責任を果たすうえで必要な

靈感を受けたりするために断食することができます。断食を通して、日常的に飢えを経験している人に思いやりの気持ちを持ちやすくなります。また、霊が肉体に打ち勝つための助けを得ることができます。■

注

1.『真理を守る』（2004年）、142－143

このテーマについてもっと詳しく知りたい場合は、マタイ6：16－18；アルマ5：46；6：6を参照してください。

「50年間の歩み」の
一部「イエス・キリストの福音」

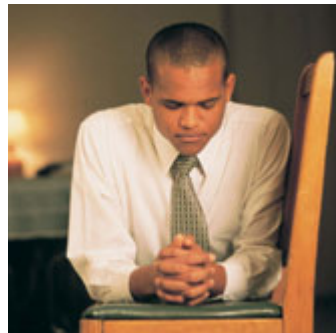
フナト、メド、ジョ、ル、
エルデン、C・アンダーセン



断食日曜日には^{せいさん}聖餐会で証をすることも
含まれます。

断食とは、主に近づき、主の祝福を願い
求めるために、自分の意志で、食べ物と
飲み物を取らないことを言います。

わたしたちは断食献金を惜しみなく差し
出すよう奨励されています。教会はその
お金を使って、貧しい人や乏しい人を
助けます。



断食は祈りを伴うと、より効果的です。



断食はいつの時代にもまことの信者の
間で実践されてきました。例えば、古代
のユダヤ人はエステルのために断食を
しましたが、それは彼女が自分の民の
保護を王に求めることができるように
するためでした(エステル4:16参照)。

「〔断食〕は理性と知性に基つい
た簡潔で完全な方法です。そして、
貧しい者を助ける問題を解決する
だけでなく、この律法を守る人に
とっても良い結果をもたらすこと
になります。それは、……肉体を靈
に従わせ、聖靈との交わりを促し、
この国の人々が大いに必要として
いる靈的な力を与えることになり
ます。断食には必ず祈りが伴うの
で、この律法は人々を神に近づける
ことになります。」

ジョセフ・F・スミス大管長
(1838 - 1918 年)
『歴代大管長の教え——
ジョセフ・F・スミス』(1998 年)、
197 - 198

青少年主導の奉仕が持つ可能性

ノーマン・C・ヒル

ナイジェリア人は、自分たちは「燃えるようなアフリカの太陽」の下に住んでいると言うのが口癖です。赤道近くの気温は季節にかかわらずほとんど変化しません。ですから、8月にアフリカ全土の奉仕プロジェクトが行われたとき、わたしたちは涼しい朝のうちに行えるだけ終わられるよう、朝7時から開始しました。

わたしたちはナイジェリア・ラゴステークのヤバワードの建物近くの空き地で、シャベルや熊手、大きな鎌を手には、除草とごみの撤去を始めました。3時間働いて、1.6ヘクタールの土地のうち1.2ヘクタールをきれいになりました。「この一角をやり終えたら今日はひとまずおしまいにし、日を改めて残りを終わらせるというのはどうだろう」と、ビショップが尋ねました。

ビショップの言葉を聞いて、教師定員会会長のエマヌエルはがっかりしたように言いました。

「もしここを仕上げないまま終わったら、青少年全員、今日一日大したことはできなかったと感じてしまうと思います。だからお願いします。終わらせてしましましょう。」

その土地のほとんどがおおよそ180センチの雑草に覆われていたため、前方が見えず、あとのくらい残っているのか見定めるのが難しい状況でした。

「ヒル兄弟、細い道を作るのにどのくらいかかるか、ぼくと二人でやって



みましょう。そうだな、60センチ幅だけでもいいですから。」エマヌエルは言いました。「もしぼくたちが手早くできれば、みんなも思ったより早く終われることが分かるでしょう。」

若い男性は二つのグループに分かれて、空き地の両側でずっと働いていました。雑草の迷宮を通り抜けて反対側までたどり着いた人はだれもいませんでした。腰が痛くなったわたしは、ひざをついて休みながら、大きな鎌で雑草を刈り続けました。青少年が何人か心配して手伝えないかと見に来ました。そしてエマヌエルとわたしがお互いを目指して刈り進めているのを見て協力してくれました。数分もたたないうちに互いにたどり着き、小さな歓声が上がりました。道が1本通ったのを見て、仲間たちも二人一組になって同じようにし始めました。

1時間もしないうちに作業が終わりました。わたしたちは満足で顔を輝かせながら、ねぎらい合いました。特に、文字どおりほかの人が後に続く道を切り開いてくれたエマヌエルに声をかけました。

年齢も経験も重ねたビショップとわたしは、若い彼らが何を達成できるかは分かると思っていました。わたしたちが目にしてきたのは、暑くて疲れ果てた少年たちでした。しかし



青少年に奉仕の機会を与える

「一体何人の執事定員会会長と教師定員会会長が、祈りや聖餐のパスをただ頼

むだけで終わっているのでしょうか。兄弟の皆さん、彼らはほんとうに特別な霊なのです。もしも機会さえ与えられるなら、重要なことを成し遂げられる人々なのです。」

十二使徒定員会
ニール・A・マックスウェル長老
(1926 - 2004年)
"Unto the Rising Generation,"
Ensign, 1985年4月号, 11

エマヌエルは友人たちが尊厳と自信を培うチャンスを見いだしました。仕事を終わるのを先に延ばすよりも、もう少し努力することで、もっと満足を得られると知っていたのです。彼はわたしたちに、教会の若人の力を思い起こさせてくれました。そして若人が先導して貢献するとき、わたしたち全員が益を得ることに気づかせてくれたのです。

青少年が成長するのを待つ必要はないこと、もしわたしたちが機会を与えるなら、彼らは今、力を発揮し、偉大なことを成し遂げられることが分かりました。■

七十人
マルコス・A・
アイトカイトイス長老



安息日を^{きよ}聖く守る 喜び

末日聖徒がほとんどいない環境で末日聖徒として育ってきたことは、幼いころの楽しい経験の一つでした。最もよく覚えているのは、誕生日や祭日、サッカーの試合や家で時折開いたシュラスコ（バーベキュー）などに、家族や友人と集まったことです。もう一つの大好きな思い出は、日曜日に家族と一緒に教会に行ったことです。

安息日を聖く守り、天の御父と御子イエス・キリストを礼拝することは、わたしたち家族にとって基本的で自然なことでした。教会の青少年として、火曜の夜はサッカーをするものだと思っていましたし、日曜日には^{せいさん}聖餐会、日曜学校、神権会に出るものだと思っていました。教会の兄弟姉妹と一緒にいるのがとても心地よく、集会後もなかなか家に帰りませんでした。

結婚して子供ができて初めて、幼いころ両親が示してくれた良い模範にほんとうに感謝するようになりました。一家の父親として、「〔主の〕聖日に祈りの家に行き、聖式をささげ〔る〕」ことがいかに大切かをもっとよく理解するようになりました（教義と聖約 59：9）。この戒めを守る人々に主が約束された祝福をもっとよく理解するようになったのです。

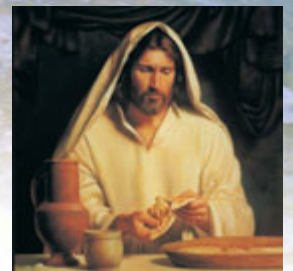
若いころ、1年間一度も教会の集会を休まなかったことを友達と言い合えたときにどれだけうれしかったか、今も鮮明に覚えています。

忠実に出席することによって自分たちがどのような益を受けているか十分には理解していませんが、世の汚れに染まらずにいることができました。それに加えて、心に喜びを感じ、楽しげな表情でいられ、ほんとうに喜びに満たされたのです（教義と聖約 59：9、13 - 15 参照）。

安息日の伝統

何年もの間、妻と子供たちとわたしはブラジル南部の我が家の近くにある小さな浜辺で夏の休暇を過ごすのを伝統にしていました。仕事の都合で引っ越したこともありましたが、その小さな浜辺からどれだけ遠くに住んでも、わたしたちは大きな期待と喜びを胸に、年に1度の旅行を続けました。同じように、^{しんせき}親戚や友人たちも、年に1度皆で集まるため早くやって来て、なるべく長く滞在しました。

その小さな浜辺でわたしたち家族は霊的に成長したり、福音を教えたりするすばらしい機会を数多く得ました。親戚のほとんどは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員ではなく、わたしたちの宗教的な信条とは異なった考えを持っていました。彼らにとって、主の日は単に遊び、楽しむための日でした。週末は週日より家族が多く浜辺に集まるので、わた



わたしは
主の聖日に
神を礼拝することによって
得られる祝福と喜びを
^{あかし}証します。
その祝福には、
今は目に見えないものも
含まれます。



年に1度、
 浜辺で休暇を過ごす間、
 安息日を破っても
 仕方がないと考えるのは
 容易だったでしょう。
 でもわたしたちは日曜日に
 教会に行かなかったことは
 一度もありませんでした。

したちにも日曜日は親族とともに過ごし活動
 に加わってほしいとみんな思っていましたし、
 何度もそう言われました。我が家の子供たち
 もそうしたいと言ってきました。

子供たちはまだ幼く、福音の真理を生活に
 当てはめることをちょうど学んでいるところで
 した。日曜日にいとこや友人たちと活動に参
 加したいという誘惑は、彼らにとって大きいも
 のでした。家族と時間を過ごすことは福音の
 中でも大切な要素であり、そのためなら安息
 日を破っても仕方がないと考えるのは容
 易だったと思います。何と言っても、当時
 浜辺から最も近い教会でも100キロ近く
 離れていました。地元の集会所に集う友人
 や隣人からは遠く離れていたため、日曜日
 にわたしたちが礼拝堂に行かず、集会に出
 席することなくそのまま浜辺にいたとしても、
 だれも知る由もありませんでした。教会には
 一年中行っていましたが、親族がともに過
 せるのは1年でわずか2、3週間でした。

しかし、わたしたちが日曜日に教会に行か
 なかったことは一度もありませんでした。た
 だの一度もです。主の教えを覚えていたから
 です。

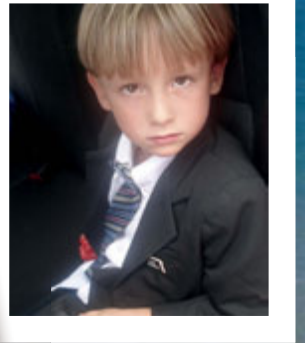
「また、あなたは、世の汚れに染まらずに自
 らをさらに十分に清く保つために、わたしの聖
 日に祈りの家に行き、聖式をささげなければ
 ならない。

まことに、この日は、あなたがたの労苦を解
 かれて休み、いと高き方に礼拝をささげるよう
 に定められた日だからである。

しかし、この主の日に、あなたはいと高き方
 にあなたの供え物と聖式をささげ……なけれ
 ばならないことを覚えておきなさい。

また、この日には、あなたはほかに何事もし
 ないようにしなければなりません。ただ、あなた
 の食物を真心を込めて準備して、あなたの断
 食が完全になるように、言い換えれば、あなた
 の喜びが満たされるようにするだけである。」
 (教義と聖約 59:9-13)





わたしたちはこの戒めを守ることを選びました。そして子供たちにも同じように守らなければならないと教えました。やがて子供たちは、主の聖なる日に神を礼拝することは、家族や友人を喜ばせたり、自分のやりたいことをやって満足を得たりするよりも大切であることを理解しました。

従順による祝福

浜辺での日曜日、わたしたちは早起し、日曜日の礼拝のために身なりを整え、最寄りの礼拝堂まで車を走らせました。道中だけでなくその日一日中、主の戒めを守る者に主が約束しておられる平安と喜びを感じました。この平安と喜びの気持ちはこの世からは得られないと理解するようになりました。

何年かの間これを続けていくうちに、素晴らしいことが起こりました。我が家の子供たちが主の聖なる日に神を礼拝する大切さについて質問することをやめたのです。また、いとこの何人かが一緒に教会に行ってもいいかと聞いてきました。わたしたちが感じていた平安と喜びが、集会後戻ったときに姪や甥にも伝わっていたとは思いませんでした。ついに素晴らしい祝福が実を結びました。いとこたちが青少年の年代になって、そのうちの二人が両親に「末日聖徒になりたい」と話したのです。やがて、その家族全員がバプテスマを受けました。最近、その家族の子供の一人は伝道から帰り、神殿で結婚しました。

わたしたちは今も毎年浜辺に行きます。

しかし、わたしたち家族が日曜日には浜辺で遊ばないことはだれもが知っています。その代わりにわたしたちは教会に行き、わたしたちに加わる親族とともに神を礼拝します。そして、その輪は毎年どんどん大きくなっています。

当時を振り返り、自分たちの選択について考えるとき、神の助けによって正しいことを行い、子供たちにも同じことを行うように教える勇気を持ったことを感謝します。その決心が我が家の子供たちや親戚を強めたことは疑いようがありません。その決心は、主が約束された平安を与えてくれ、親戚の改宗に重要な役割を果たし、日曜日にはほかの活動をしていたら得られなかった満足を与えてくれました。

わたしは主の聖日に神を礼拝することによって得られる喜びと祝福を証します。その祝福には、今は目に見えないものも含まれます。またわたしは、「主をおのが神とする民はさいわい」であることを証します（詩篇144:15）。■

わたしたちは今も毎年浜辺に行きます。しかし、わたしたち家族が日曜日には浜辺で遊ばないことはだれもが知っています。その代わりにわたしたちは教会に行き、わたしたちに加わる親族とともに神を礼拝します。

選択の自由 と靈感



ブルース・R・マッコンキーは1915年7月29日、アメリカ合衆国ミシガン州で生まれました。1946年に七十人第一評議会に支持され、1972年に使徒に聖任されます。1985年4月19日に亡くなりました。この説教は、1973年2月27日にブリガム・ヤング大学で話されたものです。

十二使徒定員会

ブルース・R・マッコンキー長老 (1915 - 1985年)

わたしたちは
自分の力で
できることを
すべて行い、
そのうえで
主に答えを
求めるべきです。
主の答えは、
自分が正しい結論に
到達していることを
承認する
しるしなのです。

わ たしたちは天の父なる神の前にいたとき、選択の自由を与えられました。それはしたいことを選び、妨げられることなく自由に選ぶ機会と特権をわたしたちに与えるものでした。……わたしたちは与えられた賜物^{たまもの}と才能と能力、知性と判断力と選択の自由を活用するよう期待されています。

しかし、他方わたしたちは、日々主を求め、主の御霊^{みたま}を望み、生活の中で啓示の霊と靈感を得るよう命じられています。わたしたちは教会に来て、正式な執行者によって頭の上に手を置かれ、「聖霊を受けなさい」と言われました。これは聖霊の賜物を授ける儀式です。聖霊の賜物とは、わたしたちの忠実さに応じて、聖霊という神会の御一方に常にともにいていただく権利のことです。

そこでわたしたちは二つの問題に直面します。一つは靈感の霊や啓示の霊の導きに従わなければならないという問題であり、もう一つは、選択の自由を使ってなすべきことを自分で決めるようにという指示を受けて、わたしたちはここにいるということです。この二つの間でうまくバランスを取る必要があります。

では、よろしければ、3つの事例を提示したいと思います。実生活でどうすべきかについて、恐らくここから非常に現実的で理にかなった結論が引き出せるのではないかと思います。主がわたしたちに与えてくださった啓示の中から、3つのケースを採り上げて説明しましょう。

「あなたは理解していなかった」

事例1です。オリバー・カウドリという人がいました。……彼は、御霊が降^{くだ}って預言者が翻訳すると、それを口述筆記していました(当時、モルモン書の翻訳が進められていました)。カウドリ兄弟はそのころ靈的に比較的未熟であり、そのときの靈性ではできないことをしたいと望みました。自分で翻訳したかったのです。そこで預言者に頼むと、預言者はその件について主に尋ねてくれました。すると啓示があり、主はこう言われました。「オリバー・カウドリよ、まことに、まことに、わたしはあなたに言う。あなたの神であり、あなたの贖い主である主が生きているように確かに、……知識を与えられると信じながら、信仰をもって、正直な心で求めるものは何であろうと、その知識を確かに与えられるであろう。」そして、彼が受けるであろうものは、「古い記録に刻まれたものについて〔の〕知識、……その古い記録は昔のものであり、わたしの聖文のうち、わたしの御霊の現れによって語られ



た部分を含むものである」と定義されました。

このように具体的な問題を採り上げたうえで、主はこの問題や、類似したその他の状況に当てはまる原則を明らかにされました。「まことに見よ、あなたに降ってあなたの心の中にとどまる聖霊によって、わたしはあなたの思いとあなたの心に告げよう。さて見よ、これは啓示の霊である。」(教義と聖約8:2-3)

……

……そこで、オリバーは求めました。しかし、御存じのように失敗しました。まったく翻訳することができなかつたのです。……オリバーは、約束に従って求めたのになぜでしょうかと主に尋ねました。すると答えがありました。なぜ翻訳できなかつたのかを教えてくれたのです。「あなたは理解していなかつた。あなたはわたしに求めさえすれば、何も考えなくてもわたしから与えられると思つてきた。」(教義と聖約9:7)

さて、これは一見、信仰をもって求めさえすればいいと教えているかのようです。しかし、信仰をもって祈り求めるための暗黙の前提として、まず目標達成のためにできることをすべて行っていなければなりません。わたしたちは、与えられた選択の自由を使います。持てる技能、力量、能力を使って、目標を達成しようと努めるのです。さて、この原則はモルモン書の翻訳にも、妻を選ぶことにも、職業を選ぶことにも当てはまります。人生で起こる1万件もの重要な事柄に当てはまるのです。……

「なぜ、わたしにたずねるのですか。」

では、事例2です。〔ヤレドの民は〕海辺にたどり着きました。これからこの海を渡ることとなります。主は〔ヤレドの兄弟に〕「船

靈的に
成熟してくると、
なすべきことを
決めるときに
選択の自由を
使うことと、
靈感の靈の導きに
従うこととの
バランスを
うまく取ることが
できるようにな
ります。

を造りなさい」と言われました。……

〔船は〕特殊で困難な状況で使用されるものだったため、〔ヤレドの兄弟は〕その装備に欠けているものをどうにかしなければなりませんでした。船内に空気を取り入れる必要がありました。これは本人の能力を超えた問題でしたから、ヤレドの兄弟は主に尋ねました。そして、本人にはどうすることもできない問題であったため、主は「こうすれば空気が入って来ます」と解決方法をお教えになりました。

ヤレドの兄弟は、すでに主と話していましたし、質問に答えていただいていたので、自信をもってもう一つこんな質問をしました。「船の中に光があるようにするために、どうすればいいのでしょうか。」

しかし、主はそれについて少し話してから、こうおっしゃったのです。「あなたがたは、船の中に光があるようにするために、わたしに何をしてもらいたいのか。」(エテル 2:23) 言い換えればこういうことです。「……わたしはあなたに選択の自由を与えました。才能と能力も与えました。行って問題を解決しなさい。」

さて、ヤレドの兄弟は主の言わんとされたことを理解しました。シーレム山と名付けた山に登り、「一つの岩から十六個の小さな石を溶かし出し」たのです。記録によると、「その石は白く、透き通っており、透明なガラスのよう」でした(エテル 3:1)。……

そして、主はヤレドの兄弟に求められたとおり石に指で触れられました。ヤレドの兄弟が主の指を見たのはこの時です。主の御霊と調和していたために、それまでいかなる預言者に与えられたいかなる啓示よりもすばらしい啓示を受けたのです。主が御自身の特質と本性をここまで現されたことはそれまでありませんでした。主がそうなさったのは、ヤレドの兄弟

ができることをすべて行ったからであり、しかも主と相談したからでした。

選択の自由と靈感との間でバランスを取るのは非常に難しいものです。わたしたちはできることをすべて行ったうえで主に答えを求めべきです。主の答えとは、自分が正しい結論にたどりついていることを承認していただいたというしるしなのですが、幸いにも時折、思いも寄らない真理や知識が増し加えられることがあります。

「彼ら自身とわたしとの間で協議する」

では、事例 3 です。教会初期の時代、主はミズーリのある場所に集まるよう聖徒たちに命じられました。……何が起こったかに注目してください。主はこうおっしゃいました。

「わたしの僕エドワード・パートリッジについて語ったように、この地は彼の居住地の地、また彼が顧問として任命した者たちの居住地である。また、わたしの倉を管理するようにわたしが任命した者の居住地でもある。」

「それゆえ、彼らに、〔そして、ここからが大切な点です〕彼ら自身とわたしとの間で協議するとおりに、彼らの家族をこの地に連れて来させなさい。」「〔教義と聖約 58:24 - 25; 強調付加〕

ここで主はシオンに「集まる」ようにとおっしゃっています。しかし、詳しいことやいろいろな手配、集まるための手段や集まる時間、状況については、当事者の選択に任せられたのです。しかし彼らは、主と協議するようにも言われていました。……

主はこれを教会の管理監督会に言ってから、その状況に適用する原則をお与えになりました。その原則はすべての状況に当てはまります。そしてそれは、わたしたちに明らかに

された輝かしい真理の一つです。主は言われました。

「見よ、わたしがすべてのことを命じるのは適切ではない。すべてのことを強いられて行う者は怠惰であって、賢い僕ではない。したがって、彼は報いを受けない。」

「まことに、わたしは言う。人は熱心に善いことに携わり、多くのことをその自由意志によって行い、義にかなう多くのことを成し遂げなければならない。」〔教義と聖約 58:26, 27; 強調付加〕……

さて、以上が3つの事例です。このような結論が明らかになりました。……

……神から与えられた選択の自由の使い方を学び、自分なりに結論を出そうと努め、納得のいく結論に達したら主と協議してください。そして、自分のたどり着いた結論を主が承認してくださっているというしるしを頂くのです。これを頂いたならば、それは一つには啓示を受けたということであり、別の観点から言えば、あなたはこのようにして永遠の命という大いなる報いを受け、終わりの日に高く上げられるということなのです。……

神はこれらのことについてわたしたちに知恵を与えておられます。わたしたちに勇気を与え、自分の足で立ち、自分の持つ選択の自由と才能と能力を活用する力を与えておられるのです。十分にへりくだって御霊に従い、自分の思いを主の御心みこころに従わせましょう。そして、主の承認を頂き、このようにして、生活に啓示の御霊を導き入れるのです。これを行うならば、その結果については疑いの余地がありません。この世においては平安を得、次の世においては栄光と栄誉と尊厳が与えられるのです。■

原文〔英語〕においては、句読点、大文字は標準用法に修正。



促しに従って行動する

^{みたま}御霊を通して日々靈感を受けることは、すべての末日聖徒の特権です。霊的な促しを受けるにふさわしくあり、進んで促しに注意を払うことによって、わたしたちは天の御父が授けたいと望んでおられる導きを受けることができます。次に紹介するのは、御霊のささやきに耳を傾けて応じ、その結果、豊かな祝福を受けた3人の会員の経験です。



引き返す必要がありました

ポルトガルのローレでステーキの神権指導者として奉仕していたころのことです。ある晩、ステーキの活動の後、わたしは数人の青少年を家に送っていました。かなり遅い時間でした。青少年を降ろすと家に向かい、車通りのほとんどない田舎の暗い道に入りました。途中、小さな橋を渡ったとき、右手下の方の河原で火が燃えているかのように光が瞬くの見えました。

その晩は湿度が高かったので、たとえ火だとしても、湿気ですぐに消えるだろうと思い、前方の道路に注意を戻しました。

ところが、何メートルも行かないうちに、「止まりなさい」という声が聞こえたのです。ほかにだれも乗っていませんでしたので驚きましたが、無視して運転し続けました。すると、今度は雷のような声がありました。「止まって引き返しなさい!」わたしは直ちに車の向きを変えて引き返しま

した。戻りながら、天の御父に尋ねました。「主よ、何でしょうか。」橋に着くやいなや車から飛び降りると、即座に主の答えを受けました。下の方から「助けてください」と叫ぶ声が聞こえてきたのです。

ほとんど真っ暗で、下の方で小さなオレンジ色の光が点滅しているほかは何も見えません。橋の下は切り立った溪谷になっていて、十分な明かりもなく、どうやって助ければよいか分かりませんでした。とっさに緊急通報番号に電話すると、間もなく救助隊が来てくれました。

あの小さな光は、道路を外れて転落した車から発せられていました。車には5人が乗っていました。2人はすでに亡くなっていましたが、わたしが聖霊の声に注意を払っていなかったら、さらに悪い事態になっていたかもしれません。

優しい声であろうと、雷のような声であろうと、主が御霊によってわたしたちに語りかけて



くださることを^{あかし}証します。あの晩、御霊に耳を傾けて良かったと思います。主が生きておられること、わたしたちを愛しておられること、そして聖霊がわたしたちに語られることを知っています。わたしたちに必要なのは、その声によく耳を傾けることです。■

ネストル・ケラレス（ポルトガル）

従うことにしました

何年も前、親戚からのレシピも載せた家族のレシピ集を作る必要があるという思いに取りつかれるようになりました。わたしはその考えを振り払い、よく自分にこう言っていました。「つまらないレシピ集などを作っている時間はない。手のかかる子供が6人もいるのだから。レシピ集作りは、パンやシナモンロールを一から作るような母親のすることだ。わたしにはそんな時間はない。」

それでも抗しがたい気持ちが何年も続き、ついにある日、レシピ集作りを真剣に考えることにしました。しかし、わたしの親族の中で、いったいだれが参加したいと思ってくれるでしょう。教会員はわたし一人ですし、両親は他界していて、きょうだいもいません。親戚のほとんどは遠くに住んでいます。それでも、とにかく促しに従うことにしました。

親族に連絡を取り、家族のレシピ集を作っていることを説明し、レシピを送ってくれるよう頼みました。それから1年の間に、幾つかのレシピが届きました。家族にまつわる話や写真を送ってくれた親戚もいました。このことがきっかけで、最年長の親族に話を聞き、家族の歴史に関する情報を集めようと思立ちました。それもレシピ集に載せることにしました。

レシピ集をまとめながら、レシピを送ってくれた親戚の中には自分の知らない人も大勢いることを実感しました。そこで、家系図も載せることにしました。一人一人のことを教えても



御霊が 導いてくださいます

「聖霊の賜物は、もし皆さんが同意するなら、皆さんを導き、守り、さらには皆さんの行いを正してさくくれます。それは思いに告げる霊的な声であり、考えや気持ちとして心に入ってきます。……過ちをまったく犯さずに人生を歩むことは期待されていませんが、皆さんは大きな過ちを犯す前に、必ず聖なる御霊のささやきによって警告を受けるでしょう。この約束はすべての教会員に当てはまるものです。」

十二使徒定員会会長
ボイド・K・バックー会長
「若人への助言」
『リアホナ』2011年11月号, 18

らい、家系図を書き出して原稿に加えました。

完成したレシピ集に最後にもう一度目を通したとき、家系図のページを開いたわたしは御霊に圧倒されました。なぜこの「つまらない」レシピ集を作る必要があったのかははっきりと分かり、涙が頬を伝いました。レシピはほとんど関係なかったのです。わたしは何世代もの先祖の名前や日付を集めていました。これらすべての人のために神殿の業を行うことができるようになったのです。さらに、将来の子孫のために数々のすばらしい話を残すこともできました。

今では、何人かのいとこと定期的に連絡を取り合っていて、親戚とのすばらしい交流を楽しんでいます。レシピ集を見ると、よく次の聖句が思い浮かびます。「それゆえ、善を行うことに疲れ果ててはならない。あなたがたは一つの大きいなる業の基を据えつつあるからである。そして、小さなことから大きいなることが生じるのである。」(教義と聖約 64:33) 促しに注意を払い、簡単なレシピ集を作ったことによって、喜びに満ちたすばらしい経験ができました。今でも、ふと立ち止まってそれらすべてのことについて考えると驚きを覚えます。■

ナンシー・ウィリアムソン・ギブス
(アメリカ合衆国コロラド州)

これだと感じました

御霊は様々な方法で働きかけてきます。御平安を感じた瞬間もあれば、慰めを感じたこともあり、考えがはっきりしたこともあります。わたしが最も強く感じる働きかけは、ほんとうであるとか正しいという感覚です。この感覚は言葉で表しにくいのですが、そのように感じるとき、何かが真実であることや、何かをする必要があることが分かるのです。

この感覚を最も強く感じた経験の一つに、購入する家を探していたときのことがあります。当時わたしは独身で、何年か前から家を買うことを考えていました。どんな物件を探しているかを不動産業者に話すと、わたしの説明にぴったり合った物件を見つけてくれました。色々な物件を見せてくれるのですが、どれも違うように感じて、断り続けました。不動産業者はそれぞれの家についてどこが気に入らないのか尋ねてくるようになりました。もっと条件に合った物件を紹介したいと思ってくれたのです。でも残念ながら、どこが不満なのかあまりうまく伝えることができませんでした。

そしてついに、ある日の午後、不動産業者とわたしはある物件を見ました。それまでに見た家と比べて、さほど良いものではありませんでした。ほかの物件よりも少し高額でした。





提示した条件は満たしていましたが、もっと条件に合った物件を前に幾つか見ていました。それにもかかわらず、ひととおり見て回った後、わたしは買いたいと不動産業者に言ったのです。即断即決だったので、業者は少し驚いた様子でした。それまで何か月も渋っていたことを思えば、当然のことでした。しかし、ここに住む必要があるという感覚は圧倒されるほど強く、立ち止まって考える必要を感じませんでした。

わたしは購入を申し込みました。そして、もっと高い買値を付けた人がいたにもかかわらず、売り手はわたしにその家を買ってくれました。家族には、なぜだか分からないが、そ

の家に住むべきだと感じると言いました。

なぜその家に住む必要があったのかはすぐに分かりました。入居して1か月後、独身者ワードで一人の女性と出会ったのです。それから1年余り後、わたしたちは神殿の聖壇を挟んでひざまずき、夫婦として結び固められました。

主はほんとうに不思議な方法で働かれます。家を選ぶ際の導きが永遠の結婚へとつながろうとは、思ってもみませんでした。家を買うという一歩を踏み出すよう自分が導かれているのは分かりましたが、今ではその導きが主の御霊によるものであったことが分かります。■

ジェフリー・ストケット
(アメリカ合衆国ユタ州)

啓示が与えられる8つの目的

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は、御霊の働きかけには8つの目的があると教えています。

証する — 御霊は、イエス・キリストがキリストであられ、福音が真実であることを証してください。

預言する — 自分の責任の範囲内において、将来起こることについて預言するよう靈感を受けることがあります。預言者や祝福師、そしてわたしたちさえも、預言的な啓示を受けることができます。

慰める — 御霊は、リパティエの監獄にいたジョセフ・スミスを慰めたように、わたしたちを慰めてください。「あなたの心に平安があるように。あなたの逆境とあなたの苦難は、つかの間にすぎない。」(教義と聖約121:7) 慰めは、神権の祝福や、すでに世を去った愛する人に関する示現、罪の赦しを通して与えられることもあります。

励ます — 御霊は落胆や無力感、霊的な停滞状態から脱するように励ましてください。人は聖文を読んでいるときや、健全な音楽や美術や文学を鑑賞しているときにも御霊を受けます。

知識を授ける — 特定の場面で語るべき言葉を授かることが

あります。主はジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに次のように言われました。「あなたがたの言うべきことは、まさにそのときに、まことにその瞬間にあなたがたに授けられるからである。」(教義と聖約100:6) これまで幾つかの神聖な場面で、天からの訪問者から直接知識を授けられることがありました。その一方、必要な知識が御霊の静かなささやきによって授けられることがあります。

思いとどまらせる — このような啓示は、するべきでないことを行うのを思いとどまらせてくれます。特定のことに、導きを求めていないときに不意に与えられる場合がよくあります。

確認する — 特定の行動を計画し、それが正しい選択かどうかを知るために祈った後、御霊による確認を受けることができます。

駆り立てる — この種の啓示は求めるものではなく、人を予定外の行動に駆り立てます。御霊からこうした働きかけを受けることはまれですが、それゆえ重要なものです。

“Revelation,” *Brigham Young University 1981 – 82 Fireside and Devotional Speeches* (1982年), 20 – 26 から

結婚生活で ともに評議する

ランディー・キーズ

カ ナダのビクトリアで結婚・家族セラピスト業を営むわたしは、ボブとメアリーという夫婦のカウンセリングを行いました。二人は一緒に何かを決定する際に意見が対立することがよくありました。

ある日、カウンセリング中にボブがわたしにこのように言いました。「ぼくが管理して取り決めようとするのですが、何をする必要があるかアイデアを出しても、妻は神権を支持してくれないんです!」

彼の発言から、管理するとはどういうことかきちんと理解していないことが分かりました。結婚した夫婦は対等な関係となり、一致の精神でともに決定を下すように努めるのです。

わたしは神権評議会から学んだ、ともに評議することに関する幾つかの原則をこの夫婦に話しました。家庭での評議は教会の評議会と幾らか異なる方法で機能するものの、共通する原則がたくさんあります。これらの原則を家庭で実践するように努めるなら、主の目にかなう方法で夫婦を強めるうえで役立ちます。



原則その1——全会一致で決定する

神権評議會の場合

会長会、評議會、ビショップリックは皆、全会一致の、協調的な合意の原則にのっとり機能します。M・ラッセル・バラード長老は、どのような案件でも、十二使徒定員会が一致した結論に達してから実行されることを説明しました。「教会の運営から世界で起きている出来事まで、幅広い議事について、正直かつ率直に話し合います。時には何週間も、何か月も、あるいは何年も話し合ってから決定される事項もあります。」¹ 一致はとても大切なので、全員の意見が一致するまで何事も決定されません。

主は評議會における同じ一致の原則をジョセフ・スミスに教えられました。「これらいずれの定員会が下す決議も皆、その定員会の全会一致の声によってなされなければならない。すなわち、彼らの決議を互いに同等の力すなわち効力のあるものとするために、各定員会のすべての会員がその決議に同意しなければならない。」(教義と聖約 107:27)

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老はこの原則を補足してこのように教えました。「一致がなければ、……靈感を受けることはできません。」² わたしたちが目的と祈りにおいて一つになると、聖霊の導きと靈感を招くのです。

家庭の場合

一致の原則は神権評議會だけでなく、結婚生活にも当てはまります。中央幹部は家族会議が教会の基本的な評議會であると教えています。³ 夫が最も基本的な評議會であるとか、妻がそうであるとかなどは教えていないことに注目してください。この評議會は夫と妻の両方によって構成されるのです。

夫婦が一致した決定を下すのに苦労することは珍しくありません。話し合っている議題が重要なものであればなおさらです。さらに、夫



婦が合意に達することよりも意見が正しいかどうかにかかわらず、「天の御父との交流がや〔み〕、伴侶とのコミュニケーションもやみます。天の御父は干渉なさいません。天の御父は招かれたいところには行かれないからです。」⁴ 大切なのは、話し合いから天の御父を締め出すのではなく心から招くことです。謙遜けんそんになって力を合わせ、互いの話に耳を傾けるなら、主の導きという本質的な祝福を得られるのです。

御霊みたまの導きを受けながら一致した決定を下すことは重要です。論理的に見て、その決定が最良の選択に思えない場合は特にそうです。大管長会第一顧問であったジョージ・Q・キャノン管長(1827-1901年)は、主は一致した指導者が評議した事柄を支持され、彼らの完全ではない計画をさらに良くするために「御自身の知恵と力で補い効果的なものにされる」と説明しています。⁵ この約束は夫婦を含め、すべての評議會に当てはまります。

しかし、いつもかしこまった手順で物事を決定する必要はありません。バラード長老は「夫婦が語り合うときも、家族会議を開いていることにな〔る〕」と教えています。⁶

さらに、主があらゆる事柄に関して命令を下されないのと同じように、夫婦はあらゆる決定について評議する必要はありません。永遠にはさして影響しない日々の決定については互いを信頼するべきです。主の導き、聖文、預言者の言葉によって、二人で話し合う必要のある事柄がどれなのかを見極めるのです。

神権評議會が物事を決める際に一致するよう努めるのと同じように、結婚生活での一致も不可欠です。

原則その2 — 全員が参加する

神権評議會の場合

2010年11月の世界指導者訓練集会で、中央扶助協会会長のジュリー・B・ベック姉妹は次の聖句を引用しました。「あなたが自身の中から一人の教師を任命なさい。そして、全員が同時に語ることなく、一時に一人を語らせて、すべての者が彼の言うことに耳を傾けるようにしなさい。それは、すべての者が語って、すべての者が互いに教化し合うように、またすべての人が等しい特権を持てるようになるためである。」(教義と聖約 88:122) ベック姉妹の意見に続いて、七十人会長会のウォルター・F・ゴンサレス長老は全員が話し合いに参加することで靈感が助長されるとの見解を述べました。⁷ 全員が話し合いに貢献する機会を等しく受けると、個々人の考えが組み合わされてさらに強力なものとなります。

家庭の場合

この参加の原則から、物事を決定する過程で、夫と妻の両方が携わることが大切であることが分かります。どちらかがすべての決定を下し、もう一人の賛同を得るだけでは十分ではありません。夫と妻の両方が靈感を求め、相手の考えや気持ちに耳を傾けるときにいっそう大きな成功を収めるのです。

ハワード・W・ハンター大管長(1907-1995年)はこのように述べました。「神権を持つ男性は妻をパートナーと考えて、家庭を治め家族を導くうえで必要な事柄をすべて知らせ、相互に納得して決定します。……主は、妻が夫の助け手(「助け手〔helpmeet〕」の *meet* は対等という意味)、つまり対等で不可欠な、完全な協力者となるよう望んでいらっしゃるでしょう。」⁸ 男性と女性は互いの助け手として造られました。話し合いに伴侶の参加を求め、それを受け入れるとき、結婚がもたらす最大の恩恵の一つを享受できるのです。

原則その3 — 義にかなって管理する

神権評議會の場合

管理の正しい意味を理解することは神権評議會を効果的に進行するうえで欠かせません。管理する人々は「教会を……見守〔り〕」(アルマ 6:1)、皆が一致し、対等な立場で参加できるように、そして評議に関するその他の原則が必ず実践されるようにする責任があります。バラード長老は次のことを思い出させてくれます。「神権者は次の点を決して忘れてはなりません。すなわち、家庭や教会の召しの中で人々の頭の上にこん棒のように神権の権威を振るう権利はない、ということです。……神権は奉仕のために与えられたのであり、苦役のためではありません。慈愛に満ちた思いやりのためであり、強制のためではありません。世話をするためであり、支配するためではありません。これ以外の考えを持っている人々は、神権の権威を持たずに行動しているのです。」⁹

家庭の場合

夫が族長として持つ、家庭の管理者としての義務は、ほかの人を支配することではなく、結婚生活と家族が豊かに栄えるようにすることです。デビッド・O・マッケイ大管長(1873-1970年)は、いつかすべての男性が救い主と個人的に神権についての面接をすることになると説明しました。「主はまず、妻との関係について説明責任報告をお求めになるでしょう。あなたは妻が幸福になるように積極的に努力し、個人としての必要が満たされるようにしてきましたか。」¹⁰

夫は夫婦の成長と幸福に対して責任がありますが、この責任があるからと言って、

妻に対する権力が与えられているわけではありません。夫も妻も両者が結婚に対して責任を負っています。義にかなった結婚生活の評議では、どちらも同じ徳を共有します。これらの徳を実践すると、互いに心を向ける助けになります。

この徳について幾つかの例を教義と聖約第121章41節から学ぶことができます。「いかなる力も影響力も、神権によって維持することはできない、あるいは維持すべきでは

バラード長老は
次のことを
思い出させてくれます。
「神権者は次の点を
決して忘れてはなりません。
すなわち、
家庭や教会の召しの中で
人々の頭の上に
こん棒のように
神権の権威を
振るう権利はない、
ということです。」



ない。ただ、説得により、寛容により、温厚と柔和により、また偽りのない愛によ〔る。〕

力や影響力を行使するために神権を使うことはできません。したがって、結婚生活を支配するために不義の手段を使うことはできません。真の力がもたらされるのは、夫婦が義の中で力を合わせ、それゆえ主の祝福を受けるにふさわしいときだけです。

永遠の結婚を築く

権力問題で悩んだり、あるいは時間やお金の管理、子供や義理の家族への接し方、そのほかの事柄について意見の食い違いがあって苦しんだりしている夫婦は、結婚生活の中でどのような基本的な原則に従うことを選んでいるかを吟味するべきです。二人が偽りのない愛によって評議する規範を作ることにより、結婚生活を改善できるでしょうか。

一致、参加、義にかなった管理の原則により、わたしたちは伴侶とふさわしい合意に達し、生活に御霊を招くことができます。愛と優しさの徳を実践することで多くの議論を

穏やかにし、結婚生活にいつそう大きな充足感をもたらし、永続する夫婦関係を築くことができるのです。■

注

1. M・ラッセル・バラード、*Counseling with Our Councils: Learning to Minister Together in the Church and in the Family* (1997年), 18 - 19
2. デビッド・A・ベドナー「パネルディスカッション」『2010年世界指導者訓練集会』lds.org/broadcasts/archive/worldwide-leadership-training/2010/11
3. 『歴代大管長の教え——スベンサー・W・キンボール』(2006年), 211 参照
4. M・ラッセル・バラード「家族会議——バラード長老夫妻との対談」『リアホナ』2003年6月号, 17
5. *Gospel Truth: Discourses and Writings of George Q. Cannon*, ジェレルド・L・ニュークイスト選(1957年), 163
6. M・ラッセル・バラード「家族会議」『リアホナ』2003年6月号, 14
7. 「パネルディスカッション」『2010年世界指導者訓練集会』参照
8. ハワード・W・ハンター「義にかなう夫、父親」『聖徒の道』1995年1月号, 58 参照
9. M・ラッセル・バラード「評議の力」『聖徒の道』1994年1月号, 87
10. デビッド・O・マッケイ, ロバート・D・ヘイルズによる引用, “Understandings of the Heart” (ブリガム・ヤング大学におけるディボーションの説教, 1988年3月15日, 8), speeches.byu.edu

義にかなう結婚生活の評議では、夫も妻も、敬意、優しさ、全面的な参加を通して夫婦の関係を築き、一致を図ろうとします。



神権の誉れと位

十二使徒定員会会長
ボイド・K・パッカー会長



「神権の権能と力は、教会で行われるあらゆることの基盤になるものです」と十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は述べています。¹ 十二使徒定員会の一員として奉仕してきた40年以上の間に、パッカー会長は神権、特に神権の重要性と適切な行使の仕方、またその鍵^{かぎ}について繰り返し語ることで、前出の言葉の意味するところを詳しく説明してきました。以下に、神権に関するパッカー会長の重要な教えの中から主要な部分を抜粋したものと、主イエス・キリストの使徒としての証^{あかし}を掲載します。

神権の鍵

19 76年にデンマークのコペンハーゲンで地域総大会が開かれました。最後の部会の後、スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）は、トルバルセン作のクリスタス像と十二使徒像が立っている聖母教会を訪問したいと言いました。……

礼拝堂の前方、聖壇の後ろに、見慣れたクリスタス像が立っています。両腕を前方に差し伸べ、手には釘^{くぎ}の跡があり、わき腹の傷も非常にはっきりと見えます。その両わきに立ち並んでいるのが使徒の像で、右側の先頭にペテロ、そしてそのほかの使徒たちが順番に並んでいます。

一行のほとんどは、管理人とともに礼拝堂の後ろの方にいました。わたしはキンボール大管長とともにペテロ像の前に立っていました。

レックス・D・ピネガー長老、コペンハーゲンステークのヨハン・ヘルゲ・ベンシン会長も一緒でした。

大理石でできたペテロの手の中に、一束の重量感のある鍵がありました。キンボール大管長は鍵を指さし、それが何の象徴であるか説明してくれました。それから大管長のしたことをわたしは決して忘れません。キンボール大管長はベンシン会長の方を向き、いつになく強い調子で会長を指さし、こう言ったのです。『デンマークの皆さんにこのことを伝えてください。わたしは鍵を持っています！わたしたちはまことの鍵を持ち、その鍵を毎日使っているのです。』

わたしは預言者のあの宣言と証を決して忘れないでしょう。その影響は霊的に力強く、印象は体を貫くほどでした。

わたしたちは皆が立っている礼拝堂の後ろ



神権の力が
本来あるべき形で
家族にしっかりと
根付いていないと
神権に本来の強さはなく、
将来も
その力を持つことは
ないでしょう。

の方へと歩いて行きました。像を指さし、キンボール大管長は親切な管理人に言いました。『この使徒たちは世を去りました。』それから大管長はわたしを指さしながら言いました。『ここに生ける使徒がいます。パッカー長老は使徒です。トーマス・S・モンソン長老とL・トム・ペリー長老は使徒です。わたしも使徒です。わたしたちは生ける使徒なのです。』

『新約聖書には七十人について書いてありますが、ここにいるレックス・D・ピネガー長老とロバート・D・ヘイルズ長老は、生ける七十人なのです。』

それまで何の感情も表さなかった管理人が突然涙を流しました。

わたしは生涯に二度と起こらないような経験をしたと感じました。』²

神権は分割できない

「神権はそれに付属するどのような職よりも大いなるものです。まずアロン神権やメルキゼデク神権を受ける人は、あんじゆ按手によってそれを授けられます。そして神権を授けられてから、神権の職に聖任されます。すべての職は神権からその権能が引き出されるのです。

神権は分割できません。長老は使徒と同じ神権を持っています(教義と聖約 20:38 参照)。神権を受ける人は、そのすべてを受けるのです。しかし神権の中には様々な職、すなわち権能と責任の区分があります。人は聖任あるいは任命された職の権利に応じてその神権を行使できるのです。……

メルキゼデク神権すなわち大神権を持っている人は、同時にアロン神権すなわち小神権の権能もすべて持っています。』³

備えの神権

「アロン神権が小神権と呼ばれるからといって、あまり大切な神権ではないということは決してありません。主は、アロン神権はメルキゼデク神権になくはならないものであると言われました(教義と聖約 84:29 参照)。大神権者はだれでも、アロン神権に属する儀式を行うことを心から誉れと思わなければなりません。それらは霊的に大きな重要性を持っているからです。

わたしは、十二使徒定員会の会員として^{せいざん}聖餐のパスをします。わたしは、人が決まりきった仕事と言うそのパスの責任を受けるとき、たとえようもない誉れを感じ謙虚な気持ちになります。……

古代の人々は、……犠牲の儀式を通してキリストの^{しよくざい}贖罪を待ち望みました。わたしたちは今、聖餐の儀式を通してキリストの贖罪を思い起こしています。

この古代の犠牲と現代の聖餐はどちらも、キリストと、キリストが血を流されたことと、わたしたちの罪のためにキリストが行われた贖罪に焦点が当てられています。そして昔も今も、これらの儀式を行う権能はアロン神権者が持っているのです。

確かにこの責任は神聖なものです。これによって皆さんは、これら古代の主の^{しもべ}僕たちと兄弟関係に入ります。したがって、アロン神権者に与えられた儀式を行うときに謙虚な気持ちになるは当然のことです。……

今ここにいる執事や教師、祭司の職を受けている人の中から、将来、使徒や預言者となり、この教会を管理する人も出てくるでしょう。皆さんは備えなければなりません。

このように、アロン神権を備えの神権と呼ぶのは確かにふさわしいことです。』⁴

長老見込み会員への招き

「長老の職は、尊厳と誉れの召しであり、霊的な権威と権能の召しです。『見込み』という言葉には、希望とか楽観とか可能性とかいった意味合いが感じられます。今日、わたしはそのような人々に話しますが、恐らくこの話はほかの多くの人々にも当てはまるはずです。……

霊的な真理が語られている環境へ戻って来るならば、皆さんがもう忘れたと思っていたことが、心の中に、洪水のようにどっと押し寄せてくるでしょう。長い年月にわたって活動停止状態にいたためにはるかかなたへ追いやられていたものも、再び現れてくるでしょう。また、それを理解する力もよみがえるでしょう。……

もし人生の進路を再び聖徒たちの中に向けるならば、程なくして、靈感あふれる言葉を再度理解するようになるでしょう。そして、皆さんが想像するよりもはるかに速やかに、今まで道をそれたことがなかったかのように感じてくるでしょう。このことを理解することが、皆さんにとってどれほど大切か、よく考えていただきたいと思います。……

間もなく神の王国であるこの教会にいることに何の違和感も覚えることなく、溶け込むことでしょ。さらに皆さんは、教会でどれほど必要とされているかを知り、また皆さんの体験談が、ほかの人々を救ううえでどれほど力強いものとなるかを知ることでしょう。』⁵

神権の召し

「召しは、依頼や要請以上のものです。それは選ばれた僕を通して主から与えられる召しです。何年も前に、スペンサー・W・キンポー

ル大管長は、アリゾナのステーキ会長のときに、召しを伝えることについて、ある経験をしました。ステーキの若い男性の会長を召す必要がありました。キンポール会長は勤め先の銀行を出ると、通りを少し歩いて、ある事務所に入り、こう言いました。『ジャック、ステーキの若い男性会長になることについてどう思う?』

ジャックは答えました。『スペンサー、わたしに言っているのかい。』

キンポール会長は言いました。『もちろん、君にだよ。君は若いし、青少年とうまくやっている。すばらしい会長になるだろう。』

しかし、ジャックが召しを断ったために、とても気まずい雰囲気になりました。キンポール会長は、銀行に戻って机に向かうと、自分の失敗についてあれこれ考えました。そして何が必要なか分かりました。会長は銀行を出て、通りを少し歩き、同じ事務所の同じ人を訪ね、フルネームで呼んで言いました。『先週の日曜日、ステーキ会長会は若い男性会長の召しについて検討するために集まりました。祈って話し合い、最後にひざまずいて確認を求め、召すべき人はあなたであるという靈感を主から受けました。わたしは主の僕として、その召しを伝えるためにここに来ました。』

ジャックは言いました。『そうですね、スペンサー。あなたがそのように言うのなら。』

会長は言いました。『そのように言うことにしたのです。』⁶

「長老は皆、召しとは依頼や要請以上のもの、実に割り当て以上のものであることを知っておかなければなりません。わたしたちは、『わたしは長老定員会会長会の顧問として奉仕するように頼まれました』というような言葉をとても頻繁に耳にしますが、『わたしは顧問として奉仕するように召されました』という方が適切でしょう。

わたしたちが自分自身で教会の職に就くのではなく、むしろ、わたしたちを管理する人の召しにこたえるのです。教会の職に対する主の御心みこころに関して、よく祈って主に相談すること

神権は分割できません。

長老は

使徒と同じ神権を持っています。

神権を受ける人は、そのすべてを受けるのです。

しかし神権の中には様々な職、すなわち権能と責任の区分があります。

神権の内にある力は
聖約を尊びながら
忠実で従順な生活を
送ることによって
与えられます。
義にかなって
神権を行使し、
用いることによって
その力は
増し加えられるのです。

は、管理する人の責任です。そうするとき啓示の原則が働くのです。その後、主の代理を務める管理役員がその召しを伝えます。」⁷

聖任の重要性

「神権は聖任の儀式によって授けられるものであり、単に聖約を結んだり、祝福を受けたりしたからといって得られるものではありません。世の始めからそうでした。過去に話されたり、書かれたりしたものの中からいかに考え、推論し、ほのめかしたとしても、特定の儀式によってのみ神権の職に召されることは今も昔も変わりはありません。

そして、聖文はこの点に関して非常にはっきりしています。それは、神権の唯一正当な授与は『権能を持つ者によって聖任され、そして権能を持っていることと、教会の長たちによって正式に聖任されたことが教会員に知られ〔る〕』ことから来るのです(教義と聖約42:11)。
……

どうぞこの簡単明解で変わる事のない事実を見逃さないでください。正当な権能を持ち、教会にそれを確認された者による聖任によってのみ、神権は常に継承されるのです。そして、たとえ神権が授けられたとしても、その人は聖任された職分を超える事柄について何の権能も持ってはいないのです。この制限は任命された職についても同様です。正規のものでない聖任や任命は無意味であり、もちろん神権の力も権能も伝えることはできません。」⁸

神権の力

「これまで、神権の**権能**の分配はととも順調に進んできました。ほぼすべての地で神権の権能を確立してきました。長老と大祭司の定員会は世界中にあります。しかしわたしは、神権の**力**の分配は、神権の**権能**の分配ほど進んでいないと思います。神権の**力**が本来あるべき形で家族にしっかりと根付いていないと神権に本来の強さはなく、将来もその力を持つことはないでしょう。……

神権の権能はわたしたちとともにあります。あらゆることが相互に調整され、系統立てられた今、教会において神権の力を積極的に行使する責任はわたしたちにあります。神権の内にある**権能**は聖任によって与えられます。神権の内にある**力**は聖約を尊びながら忠実で従順な生活を送ることによって与えられます。義にかなって神権を行使し、用いることによってその力は増し加えられるのです。

さて父親の皆さん、あなたの召しが神聖なものであることを改めて伝えます。あなたには、家庭を守るために主から直接与えられた神権の力があります。サタンが加える攻撃から盾となって家族を守るものが神権の力以外になくなる時がやって来ることでしょう。皆さんは聖霊の賜物を通して主から導きを受けるでしょう。」⁹

「皆さんが**力**を受けるか否かは、この神聖な目に見えない賜物をどう扱うかにかかっています。

……皆さんの権能は聖任によって、そして力は従順とふさわしさによってもたらされます。……

神権の力は、ごく普通の義務を果たすことからもたらされます。集会に出席し、割り当てを受け、聖文を読み、知恵の言葉を守ることなどによってです。」¹⁰

主のまことの僕

「ほかのキリスト教会で神権の鍵が行使されているという話を聞くことはありません。不思議なことに、イエス・キリストが確立された権能と組織を持つ唯一の教会であるわたしたちを、クリスチャンではないと言う人がいます。

現在の十二使徒はまったく平凡な人たちです。キリスト時代の十二使徒と同様、一人一人は人目を引きませんが、全体が集まると大きな力を発揮します。

皆以前は様々な職業に就いていました。科学者や弁護士、教師もいます。

……〔ラッセル・M・〕ネルソン長老は心臓外科の分野での開拓者的存在〔でした。〕……

定員会には、船員、海兵隊員、パイロットとして

軍隊にいた使徒も何人かいます。

皆、教会で様々な責任を果たしてきました。ホームティーチャー、教師、宣教師、定員会会長、ビショップ、ステーク会長、伝道部会長、そして最も大切な、夫と父親として奉仕してきたのです。

全員が、イエス・キリストの福音の生徒であり、教師です。そして救い主を愛する気持ち、御父の子供たちを愛する気持ち、また主がこの教会の頭であられるという証によって一つとなっています。

十二使徒のほとんどは、地上でのキリストと同様、つましい家庭の出です。生ける十二使徒はイエス・キリストの福音を教え、導くことにおいて一つとなっています。召しを与えられたとき、各自が自分の網を捨てて主に従いました。」¹¹

「わたしとともに聖任にあずかっている14人の兄弟たちは、真実の使徒であると申し上げます。これを宣言するに当たり、わたしは主が教えられたこと以上のことを、また、誠心誠意求める人々ならだれにでも示される御霊の証以上のことを申し上げるつもりはありません。

これらの人々は主のまことの弟子です。彼らの勧告に聞き従ってください。」¹²

使徒の証

「わたしには足りない資質が多くあります。不足を補うためには、かなりの努力が必要です。しかし、たった一つだけ、先ほどの〔なぜ自分のような者がこの聖なる使徒職に聖任されたのかという〕疑問の答えとなる資質があります。ペテロやこれまでに聖任されたすべての使徒と同様、わたしには**イエス・キリストの神性**についての証があるのです。

神がわたしたちの御父であられることを知っています。御父は御子イエス・キリストをジョセフ・スミスに紹介されました。皆さんに断言します。わたしはイエスがキリストであられることを知っています。主が生きておられることを知っています。主は時の中間にお生まれになりました。御自身の福音を教え、試しを経験



されました。苦しみを受け、十字架につけられ、3日目に復活されました。イエス・キリストは御父と同様、骨肉の体をお持ちです。イエス・キリストは御自身の贖いの業を果たされました。わたしはイエス・キリストを証します。わたしはイエス・キリストの証人です。」¹³ ■

注

- 1.「神権を授ける方法——教義、原則、実践」『世界指導者訓練集会』2003年6月21日、1
- 2.「十二使徒」『リアホナ』2008年5月号、84-85
- 3.「すべての長老、そしてすべての女性が知っておくべきこと——神権政体の原則に関する手引き」『聖徒の道』1994年11月号、17
- 4.「アロン神権」『聖徒の道』1982年4月号、52-54 参照
- 5.「長老見込み会員に訴える」『聖徒の道』1977年6月号、286、287、288 参照
- 6.「神権を授ける方法——教義、原則、実践」『世界指導者訓練集会』2003年6月21日、1-2
- 7.「すべての長老、そしてすべての女性が知っておくべきこと」『聖徒の道』1994年11月号、21-22 参照
- 8.「神殿と神権」『聖徒の道』1993年7月号、21-22 参照
- 9.「神権の力」『リアホナ』2010年5月号、7-8、9
- 10.「アロン神権」『聖徒の道』1982年4月号、55、56
- 11.「十二使徒」『リアホナ』2008年5月号、85-86 参照
- 12.「十二使徒」『聖徒の道』1997年1月号、8
- 13.「十二使徒」『リアホナ』2008年5月号、86-87

父親の皆さん、
あなたの召しが
神聖なものであることを
改めて伝えます。
あなたには、
家庭を守るために
主から
直接与えられた
神権の力があります。

あなたの アロン神権の義務

あなたはアロン神権に聖任されています。
今、あなたが行わなければならないことは何でしょうか。

教会機関誌
ポール・バンデンバーグ

あなたは、前の日曜日に聖任を受けたばかりの新しい執事かもしれません。毎週聖餐の準備を手伝っている教師かもしれません。あるいは、奉仕プロジェクトについてよく知っており、若い教師と執事が新しい責任を果たせるようによく指導できる、経験豊かな祭司かもしれません。いずれにしても、神権者は皆、主から等しく次のことを求められています。「今や人は皆、自分の義務を学び、任命されている職務をまったく勤勉に遂行するようになさい。」(教義と聖約 107:99)

では、この義務について何から学べるのでしょうか。最初に調べるのは聖文でなければなりません。特に、アロン神権の義務が概説されている教義と聖約の次の章を研究したいことでしょう。それは、教義と聖約 20:46 - 60, 72 - 79; 84:111 にあります。

もう一つの素晴らしい資料は、『神への務めを果たす——アロン神権者用』という冊子です。この冊子では、神権の責任が3つに区分されています。(1)「神権の儀式を執り行う」、(2)「人々に奉仕する」、(3)「キリストの

もとに来るようにすべての人を招く」。執事、教師、祭司の各職に関する「神権の義務」の項には、研究するべきその他の聖文と、神権の義務をもっとよく理解するのに助けとなる計画を立てるための提案が記されています。

アロン神権者の主要な義務の幾つかを簡単に見てみましょう。

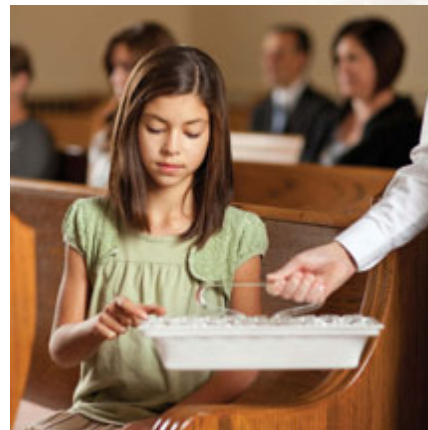
執事

執事は同じ定員会の会員やその他の教会員に良い模範を示します。義にかなった生活をし、神権を行使するふさわしさを保ちます。

執事は聖餐のパスをします。これは執事の最も神聖な義務の一つです。この義務を果たすとき、執事は主の代表です。教会の会員に聖餐の象徴を渡すのにふさわしくなければなりません。聖餐の神聖さを表すような服装と行動をしなければなりません。可能であれば、白いワイシャツを着るようにします。

執事は「教会員を見守……るように任じられ[た]」常任教導者として奉仕します(教義と聖約 84:111)。また、「警告し、説き明かし、勧め、教え、

アロン神権に聖任されると、特有の権利と責任、義務が与えられます。それが何であるかを学ぶために、まず聖文を参照してください。もう一つの素晴らしい資料は、『神への務めを果たす——アロン神権者用』という冊子です。





またキリストのもとに来るようにすべての人を招かなければ」なりません（教義と聖約 20：59）。この責任には、定員会会員とその他の若い男性をフェローシップすること、会員に教会の集会について知らせること、集会で話をする^{あかし}こと、福音を分かち合うこと、証を述べる^{あかし}ことが含まれます。

執事はビショップが「現世の事柄をつかさどる」のを助けます（教義と聖約 107：68）。この責任には、断食献金を集めること、貧しい人や助けの必要な人の世話をすること、集会所や敷地の手入れをすること、教会の集会でビショップのメッセンジャーを務めることも含まれます。

執事は福音を熱心に学ぶことによって定員会のレッスンに参加します。そのほかの義務には、会員がこの世的な必要を満たすのを助けること、宣教師として奉仕する準備をして奉仕に携わること、定員会会長を支持して助けること、定員会の年齢の若い男性を再活発化すること、福音を学ぶことが含まれます。



威厳のある人となる

「わたしたちはすばらしい若い兄弟の皆さんに『再び生まれる』ように熱心に努めるよう呼びかけます。生活の中でこの変化を経験できるよう祈ってください。聖文を研究してください。ほかの何よりも、神を知り神の聖なる御子のようになることを望んでください。若い時を楽しみながらも、子供じみたことを捨ててください。

不敬で思慮に欠けた会話を避けてください。

あらゆる悪から逃れてください。

争いを避けてください。

必要なときには悔い改めてください。

これらの事柄は、皆さんが成熟した威厳のある男性となるのに役立つでしょう。勇気、誠実、謙遜、信仰、善良という特質が身に付くでしょう。友人は皆さんに敬服し、両親は皆さんを称賛し、神権を持つ兄弟たちは皆さんを頼りにし、若い女性たちは皆さんを尊敬し、皆さんのおかげでさらに良い人になるでしょう。神は皆さんに誉れを与え、皆さんが神権の務めを果たすときに高い所から力を授けてくださるでしょう。」

管理ビショップリック第二顧問
ケース・B・マクマリンビショップ
「アロン神権の力」
『リアホナ』2011年11月号, 48-49

教師

教師には執事のすべての責任に加え、次の責任もあります。

教師は聖餐の準備をします。聖餐会のためにいつも聖餐の準備をすることは、教師の責任です。聖餐の準備は、称賛を期待しないで奉仕をすることの良い例です。会員は教師が聖餐の準備をしているということにあまり気づきません。しかし、それでも奉仕は行われており、それがほんとうの奉仕であるため、主は喜ばれます。

「教師の義務は、常に教会員を見守り、彼らとともにいて彼らを強めること」です（教義と聖約 20:53）。これを行う一つの方法は、ホームティーチャーとして奉仕することです。

教師は、「教会の中に罪悪がないように、互にかたくなになることのないように、偽り、陰口、悪口のないように取り計らいます。」（教義と聖約 20:54）この責任には、会員が互いに仲良くするのを助けることによって平和をつくり出す人になることが含まれます。いつも人々の良い点を見るように周囲の人々に勧めなければなりません。

教師は「教会員がしばしば会合するように取り計らい、またすべての会員が自分の義務を果たすように取り計らいます。」（教義と聖約 20:55）この責任の一部として、教会の集会に出席するようほかの人々を招待することがあります。

祭司

祭司には執事と教師のすべての責任に加え、次の責任もあります。



祭司は聖餐のテーブルに着いて聖餐を執行します。聖餐を執行する栄誉は、聖餐の祈りをささげる祭司に与えられます。祭司は聖餐の祈りに精通し、適切な服装をし、手を洗ってからこの儀式を執行しなければなりません。とりわけ、救い主の代表としてこの神聖な儀式を執行するにふさわしくなければなりません。

祭司のもう一つの義務は、ビショップまたは支部会長から承認された場合、バプテスマを施すことです（教義と聖約 20:46 参照）。適切な権能によるバプテスマは、教会における最も重要で神聖な儀式の一つです。なぜなら、この儀式によって教会員になり、罪の赦しを受け、日の栄えの王国

への道に入ることができるからです。

「祭司の義務は、説き、教え、説き明かし、勧め〔る〕」ことです(教義と聖約 20:46)。すなわち、祭司は福音の原則をほかの人々に教えるために召されています。福音の原則を教えるためには、もちろん、まずその原則が何であるかを学ばなければなりません。この責任は、専任宣教師として奉仕する準備をするのに非常に役立ちます。

祭司は「各会員の家を訪れて、彼らが声に出して祈り、ひそかにも祈るように、また家庭におけるすべての義務を果たすように勧め〔ます〕」(教義と聖約 20:47) ホームティーチャーとなって割り当てられた家族を訪問するという責任を果たすときに、このように行います。

祭司は、ビショップまたは支部会長から承認された場合にのみ、アロン神権を受け、ほかの祭司、教師、執事を聖任します(教義と聖約 20:48 参照)。アロン神権を受ける力は神聖です。

若い女性と神権

神権の権能が教会のふさわしい男性会員にのみ授けられるとしても、神権の祝福はすべての人に与えられます。男性と女性に、若い女性と若い男性に、富んでいる人と貧しい人に、同じ祝福が与えられます。神の子供たちは皆、同じ神権の救いの儀式を受ける特権があります。

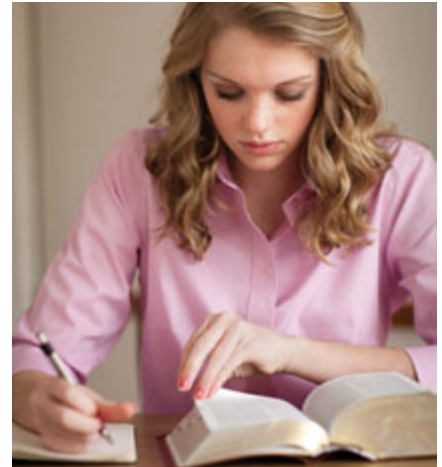
バプテスマを受けた若い女性は皆、神の選ばれた娘として、聖霊の賜物も受けています。「異言、預言、啓示、示現、癒し、異言の解釈などの」

霊的な賜物を求め、それらの賜物による祝福を受ける権利があります(信仰箇条 1:7)。若い女性が義にかなった生活をし、これらの御霊の賜物を受けてそれを十分に活用することによってほかの人々に仕えるように努めるとき、彼女たちの良い模範は、周囲の若い男性に大きな影響を与えます。

若い女性は、若い男性がふさわしい神権者になるのをどのように助けることができるでしょうか。ある若い男性はこう答えました。「若い女性が行う最も大切な二つの事柄は、慎み深い服装をすることと、すべての人に親切であることだと思います。慎み深い服装は思いを抑制するのに助けとなります。実際、その女性たちを見ながら話をするができます。」

天の御父はあなたを助けてくださる

執事、教師、また祭司であるあなたは、自分の神権の義務を理解して果たすようになると、喜びを感じることでしょう。その喜びは、神権の儀式を執り行うこと、人々に奉仕すること、またキリストのもとに来るようにすべての人を招くことによってもたらされます。大管長会は、アロン神権者にあてたメッセージの中で次のように述べています。「天の御父はあなたを深く信頼し、あなたが果たすべき大切な使命を用意しておられます。祈りによって御父に心に向け、御霊の促しに耳を傾け、戒めを守り、交わした聖約を守るときに、御父はあなたを助けてくださいます。」(『神への務めを果たす』〔2010年〕、5) ■



神権の権能は

教会のふさわしい男性会員にのみ

授けられるとしても、

神権の祝福は、男女を問わずすべての人に

与えられます。

神権の義務に関するその他の事項

神権の義務と「神への務め」に関する情報やビデオ、話を見るには、DutytoGod.Ilds.org (英語) へアクセスしてください。

伝道本部へ行きなさい!

コートジボワールでの伝道からガーナの自宅に戻った翌朝、わたしは午前6時に目を覚ました。解任のためにステーキ会長と会う約束は午後でしたので、まだ寝ていることにしました。寝入りそうになっていたところで、ふとある考えが心に浮かびました。「ケープコースト伝道本部に行きなさい。」わたしはガーナ・ケープコースト伝道本部を知っていましたが、なぜその朝行く必要があるのか見当が付きませんでした。

その考えが浮かんでから、自分が受けた印象について気がかりになってきて、

わたしは伝道本部へと向かいました。行く途中でわたしは伝道部会長に何と言えよいか心配になりました。来訪の目的を尋ねられるのは分かっていたので、ふさわしい答えを用意しようと試みました。

到着したとき、まだ答えが分かりませんでした。伝道部会長のメルビン・B・サベイ会長はわたしが解任してもらいに来たと思ひ執務室に招き入れられました。2、3の質問の後、サベイ会長は解任のためならばステーキ会長のところに行くようにと言いました。

「会長、それは分かっています。」わ

会長はまさにわたしが答えあぐねていた質問をしました。
「なぜあなたは今朝ここに来たのですか。」

わたしはそう答えました。

会長はしばらく沈黙した後、まさにわたしが答えあぐねていた質問をしました。「なぜあなたは今朝ここに来たのですか、モビオ長老。」

「サベイ会長、その質問に対する正しい答えは分かりません。」わたしは言いました。「ただ今朝、ここに来なければと強く感じたのです。」

会長はまたしばらく沈黙した後、穏やかに言いました。「モビオ長老、ここにあなたがいることは、わたしが昨日祈り求めた答えなのです。」会長によると、伝道部会長補佐が新任の宣教師を連れて来たのですが、その中の一人はコートジボワール出身でした。初めてのフランス語圏からの宣教師を迎え、会長はどのように意思を伝え合えばよいか分かりませんでした。そしてきっぱりと言いました。「確かに天の御父は昨晚のわたしの悩みをお聞きになったのです。」

ついにわたしはその朝なぜそのように感じたのか理由が分かりました。すぐにわたしたちは新任の宣教師と会い、わたしは伝道を始めたばかりのコートジボワールから来た長老の通訳をしたのです。

7か月後、わたしはパスポートを更新するためにコートジボワールに戻り、わたしの伝道部会長に自分の経験を分かち合いました。会長は言いました。「わたしたちは主の御手に使われる者で、主は御業の中でいつどのようにわたしたちをお使いになればよいか御存じなのです。」

もしわたしたちが御父の栄光の業に自分自身を完全にささげるならば、悩む必要はありません。ただ静かな細い声に注意を向けて、主の導きに自分をゆだねたらよいのです。■

フェリシエン・ドグボ・モビオ(ガーナ)



わたしは再び耳を傾けました

15年前に製造されたわが家のミニバンのタイヤとホイールを買うようにと強く感じたのは、旅の前の晩、わたしが寝つこうとしていたときでした。ミニバンにはスペアタイヤは付いていませんでした。翌日わたしは忙しく、そのことについて忘れていました。わたしたちは3人の子供と荷物を車に乗せて、4時間離れた父の家へと向かいました。

その途中、バンのタイヤが破裂しました。タイヤを交換するために最寄りの町までバンをけん引してもらいました。地元でタイヤとホイールを買う3倍の費用がかかり、待ち時間に90分取られました。わたしは御霊の^{みたま}促しについて理解し、今後はもっとよく御霊の促しに従おうと決意しました。

その後4年がたち、さらに二人の子供が生まれた後、わたしたちは再び父を訪ねるところでした。父は今13時間離れた町に住んでいます。そのとき、わたしたちは前とは違う、製造後14年たったバンに乗っていました。出発の1週間ほど前、わたしはバンのスペアタイヤを替える必要があると強く感じました。過去の経験を思い出し、わたしはその促しに従いました。何日か後、それまでロープで縛りつけていた荷物を固定するために、ラチェット（ギア付きの締具）の付いたストラップを買うようにとの促しを受けました。必要なのは2本でしたが、4本入りのケースを1つ買い、余分な2本は緊急キットの中にしまいました。

父の家から帰る途中で、夕食を買うために停車しました。わたしがバンの屋根のケースから物を出そうとしていたところで、3歳の娘がスライドドアに

触れました。するとドアが外れたのです。娘がそのドアでけがをしなかったことを感謝しました。金曜の晩、わたしたちは家から500マイル（805キロメートル）ほども離れた場所にいました。そこでわたしは帰途に就けるようドアを元の位置にはめ込みました。しかしうまく溝にはまっておらず、そのまま走ると外の音が聞こえました。わたしはもう一度車を止めて、ドアを固定するために、余っていた締具付きのストラップを使いました。

数時間後、バンがひどく揺れ出しま

バンがひどく揺れ始めました。
車を止めると、
1本のタイヤが破れているのが
分かりました。



した。震えるドアからガタガタと大きな音が伝わってきました。しかしドアはストラップで固定されていました。再び車を止めると、1本のタイヤが破れているのが分かりました。わたしはすばやく何週間か前に購入したスペアタイヤに取り替えて、再び走り始めました。

わたしは旅の安全を守ってくださった聖霊の促しに感謝しています。もし「静かな細い声」(列王記上 19:12; 1ニコファイ 17:45; 教義と聖約 85:6も参照)に耳を傾け、天父の促しを心に留め、助けが必要なときに願い求めるならば、天の御父はわたしたちを見守ってくださることを知っています。■

教会機関誌 マシュー・D・フリットン

種をまいていたのです

修士課程で企業倫理を学んでいたドイツのハイデルベルクにあるシラー国際大学で、各学生は学期の終わりに20分間のプレゼンテーションを行うように割り当てられました。わたしは教授から末日聖徒の視点で倫理について話すよう頼まれました。

わたしは18歳でバプテスマを受け、1年後ブラジルでの伝道に召されました。それ以来ずっと、わたしは多くの人に福音を分かち合ってきました。

大学という環境で宗教的な内容を論ずることは難しいと知っていましたが、わたしはその課題を受け入れました。わたしはMormon.orgの内容を取り入れた発表を準備することに決めました。

わたしの大学には世界中から学生が来ていました。倫理の授業もその多様性を反映し、様々な国から来た18人の学生がいました。

倫理学のプレゼンテーションはインド

出身の二人の学生によって始まり、続いてミャンマー出身の学生、そして最後にわたしが発表しました。わたしが語ったのは、「家族——世界への宣言」と信仰箇条、そして福音に関するその他の内容です。ほとんどの学生にとって、この教会について聞くのは初めてでした。

わたしは福音の証と、周囲の圧力がある中でも正義を行うことについて証して発表を締めくくりました。最後に

発表の後、わたしはありとあらゆる質問を浴びせられました。わたしの20分のプレゼンテーションは1時間になりました。



どうして来るべきだと分かったの？

わたしは皆にそれぞれの言語のモルモン書を渡しました。発表の後、わたしはありとあらゆる質問を浴びせられました。わたしの20分のプレゼンテーションは1時間になりました。

次の授業の日、インド出身の友人がわたしの発表に感銘を受けたと言ってくれました。すでにモルモン書も少し読んだとのこと。同じくインドから来た彼の友人も1冊欲しいと言いました。後日、ミャンマー出身の友人は教会について、特に家族についての教えと純潔の律法について聞くことができうれしかったと言ってくれました。なぜなら彼女もそれらの原則を信じていたからです。彼女もモルモン書を読むと約束してくれました。

ガーナ出身の友人たちは、わたしが福音の回復について彼らに教えたことを感謝していました。そしてアクラにある神殿を見に行く約束してくれました。リベリア出身の友人はわたしの伝えたメッセージは彼への靈感であり、将来への希望を与えたと言ってくれました。

わたしは主の御霊がわたしのメッセージを確かなものにしてくれたことをうれしく思いました。わたしたちの言葉が及ぼす影響を必ずしも見ることはできませんが、わたしのクラス発表が将来実を結ぶであろうことを知っています。あの教室にいただれかがいつか福音を受け入れ、回復のメッセージをあらゆる国民、部族、国語の民族に宣べ伝えるために（教義と聖約133:37参照）、主の御手に使われる者となることを願っています。■

アベル・チャベス（ドイツ）

33歳のとき、夫を脳腫瘍で亡くしました。わたしは突如として3人の子供を独りで育てる片親となりました。それは人生の中でとてもつらい時でしたが、「これらのことはすべて、あなたに経験を与え、あなたの益となるであろう」（教義と聖約122:7）という主の勧告が、わたしに歩み続ける勇気を与えてくれました。

後にわたしは再婚して新しいワードに移り、そこで扶助協会会長に召されました。ある日、家の掃除をしていたとき、最近夫を亡くした、あまり活発でない姉妹を訪問するようというはつきりした促しを受けました。その日はほかにすべきことがあると思い、わたしはその考えを振り払いました。恥ずかしいことですが、その後同じ印象を2度受けるまで、わたしは行動を起こしませんでした。

その姉妹の家に着いたときには、もう暗くなっていました。わたしは呼び鈴を鳴らして待ちました。その後ドアを大きな音でノックして、もうしばらく待ちました。

そこを去ろうとしたとき、玄関の明かりがつき、ゆっくりとドアが開きました。ドアの透き間からためらうようにその姉妹が顔を出しました。そして彼女が口にした言葉をわたしは決して忘れません。「どうして来るべきだと分かったの？」彼女はその日、一日中泣いて過ごし、夫なしでは生きていけないと感じていたと教えてくれました。

その晩わたしたちは何時間か語り合いました。何を語ったのかあまり覚えていませんが、彼女に次のように言ったことは確かに覚えています。



そこを去ろうとしたとき、玄関の明かりがつき、ゆっくりとドアが開きました。ドアの透き間からその姉妹が顔を出しました。

「あなたが経験していることがほんとうに分かるわ。」そして時間が味方してくれることを伝えました。話し合うにつれて、悲しみに満たされた彼女の顔が安らぎの表情に変わってきたのに気づきました。

会話の最後に、わたしは愛を込めて彼女を抱きしめました。彼女を訪ねるようにとの促しを受けたことをとても感謝しました。わたしは愛に満ちた天の御父が、この助けを求めている姉妹を救うために、わたしに手助けをさせてくださったと分かりました。■

シェリー・H・ジレット（アメリカ合衆国、ユタ州）

信仰を一つにして集う



ヤングアダルトセンターでは、福音の学習、社交活動、伝道活動、活発化といった機会を提供しています。



ステファニー・J・バーンズ

ウガンダのバーバラ・マトブー、ネパールのサム・バスネット、そして、ノルウェーのエリザベス・オルセン。この3人は、人種も出身国も違っています。それでも、バーバラとサムとエリザベスは、同じ場所に集っていました。ノルウェー・オスロのヤングアダルトセンターに、イエス・キリストの回復された福音という一つの真理の下に集っていたのです。

3人とも教会に加入したのはオスロです。このヤングアダルトセンターで宣教師からレッスンを受けました。オスロにあるような施設は、社交活動やインスティテュートの学習の場、コンピューターやインターネットを楽しむ場、学校の勉強の場、さらに夕食を調理する場として奉獻されています。

バーバラがウガンダからノルウェーに移り住んだのは1998年、彼女が9歳のときのことでした。それから10年後、オスロに住んでいるころ、二人の宣教師から回復された福音について学んでみませんかと言われ、ヤングアダルトセンターで集会を持ちましょうと誘われたのです。バーバラは最初、まったく懐疑的でした。

「わたしはこう自問しました。『またユースセン

ターだわ。』 これまで同じような場所に何度も出かけてきましたが、正直言って、どこへ行っても気持ちが安らぐことなんてありませんでした。」

でも、このセンターだけは違っていました。「ドアを開けて一歩足を踏み入れた途端、そんな疑いも吹き飛んでしまったのです。」バーバラは当時を思い出してこう言っています。「わたしはしばらくそこに立ち止まって、この気持ちは一体何なのか思いあぐねていました。温かさや愛を感じていたからです。自分がいる場所も、交わる人々も、ここへ来た目的も、間違っていなかったと確信できたのです。」

ヤングアダルトセンターに集う

ヤングアダルトセンターを建築しようという動きは2003年に起こりました。センターの設置により、インスティテュートでは、単なる宗教教育のクラス以上のものを提供できるようになり、活用の幅が広がっています。ヤングシングルアダルトたちには、センターの活動評議会で奉仕をし、専任宣教師たちと一緒に働いて同年代の人々を教えたり活性化したりする助けをし、センター全体の運営に当たっている夫婦宣教師と交わる、といった機会も与えられています。地元の神権指導者たちが、地域七十人たちの指導を受けて、それぞれの地域ごとにセンターを設置するかどうかを決定します。

最初の4つのセンターは、デンマークのコペンハーゲンとドイツのベルリン、ハンブルグ、ライプツィヒで始まったのですが、その4つが2011年には141へと花開いています。場所もスウェーデンやキプロスにまで広がっています。世界のそ



上から
バーバラ・マトブー、
サム・バスネット、
エリザベス・オルセン



ヤングアダルトたちには、センター活動評議会で奉仕をしたり、専任宣教師と一緒に働いて、同年代の仲間のレッスンに参加したり、活発化を助けたり、夫婦宣教師と交わったりする機会があります。



れ以外の場所でも、さらに多くのセンターが様々な発展段階にあります。アメリカ合衆国やアフリカも例外ではありません。

ジェラルド・ソレンセンとナンシー・ソレンセンは夫婦宣教師として、ノルウェーのトロンヘイムでヤングアダルトのために奉仕をしていました。ここでは世界中の国々からヤングアダルトが集まってきます。中には、アフガニスタン人、中国人、ガーナ人、イラン人、イラク人、モザンビーク人、オランダ人、ナイジェリア人、ロシア人、トルコ人、ウクライナ人といった人々がいます。

「言語も習慣も、教育や宗教の背景も実に様々でした。」ソレンセン兄弟は気づいていました。「でもここに集うヤングアダルトには皆、共通のきずながありました。それは、天の御父とその御子イエス・キリストについてもっと知りたいという願いです。わたしたちも彼らのことを知り、個人的な夢や問題について知るようになると、神の子である彼らを一人一人見守ることが容易になりました。神が彼らの祈りにこたえ、その歩みを導きながら、偉大な愛を示してくださっていることは、だれの目から見ても明らかでした。」

ノルウェー・オスロ伝道部のアーマンド・ヨハンセン会長は、ヤングアダルトたちがある目的のためにセンターへ導かれていると感じています。それは、将来の責任に備えて訓練を受けることも含まれます。「ノルウェーの教会はますます多様性が増していくことでしょう。ですからセンターに集うヤングアダルトたちは、それにどう対応するか、その方法を知り、あらゆる文化や人々をつなぐ共通の要素として教会がいかに重要か、認識するようになります。」ヨハンセン会長はそう語っています。

キリストにあって一つとなる

バーバラ・マトプーは、最初に宣教師にこのセンターへ連れて来てもらったときのことをよく覚えています。ほかのヤングシングルアダルトと出会うための活動でした。彼女は、そこでどんなことが起きるのか、分かっているような気がしました。

「自分の生涯を考えると、わたしはいつもどこかのグループに所属してきていました。」バーバラの説明に耳を傾けてみましょう。「しかも、そのグループというのが、いつも何か特徴を持つものだったんですね。例えば、はでな服装をした人たちの集まりとか、外国人だけが集まるグループとか、そういう集団ですね。それで、このセン



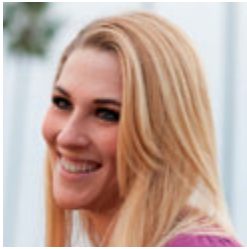
ターに人が集まり始めたとき、だれも『わたしは人気者たちのグループに入っているんだから、あなたとは話せないわ』といった態度を執っている人が一人もいないように思えたので、すごく違和感があったんです。

最初わたしはこう考えました。『この人たちは演技をしているのかしら。これは劇の一部じゃないの?』でも、しばらくすると、実際には自分がどういう人間で、どこの出身かとか、何語をしゃべるのか、といったことは意味がないんだということに気づいたのです。天のお父様の愛は、すべての人たちに注がれています。普通、わたしは自分に適したグループを見つけるのに少し時間をかけます。でも、今回は、グループなんていないんじゃないかと感じたのです。自分はバーバラだし、だれにとってもバーバラという自分でいいんだと思ったのです。』

エリザベス・オルセンは、自分の天の家族の中に自分の居場所を見つけたときには、謙遜な思いになる、と言っています。「異なった文化や社会から来た人々に会うとき、そういう人にレッテルをはるのは簡単です。わたしは自分の目をもっと見開いて、キリストの目で人々を見ることを学んできました。」さらに言葉を続けてこう言っています。「センターに集うわたしたちの文化背景は一人一人異なっています。でも、わたしたちが共通して持っているものがあります。それは、イエス・キリストと神と一緒にもう一度過ごしたいという願いです。」

一つとなっても同じにはならず

一致という考え方に警戒心を抱く人もいるかも



最初に4つしかなかったヤングアダルトセンターは、141に至るまで発展を続け、さらに世界のほかの地域でも設置しようと計画が進められています。

しれません。一致は個を犠牲にして初めて可能になるからだと思えるからです。「多くの人々が宗教に警戒心を抱くのは、同じ戒めに従って生活すれば、皆同じような人間になるのではないかと考えているからです。」しかし、それはまったく違います。神はわたしたち一人一人を個としてお造りになりました。わたしたちは同じものを信じているかもしれませんが、わたしたちの資質も賜物も異なっており、それが一人一人の個性を作っています。わたしたちには皆異なった使命が与えられていますから、神はわたしたち一人一人に皆異なった存在でいてほしいと願っておられるのです。

サム・バスネットも、宗教の規則は制限ばかりだと考えている友人たちの質問にこたえてきました。「ある友人はわたしにこう言いました。『教会へ行けば、人が作った規則に従わないといけないうだろう。』」そう教えてくれたサムが教会の標準に従っているのは、自分で祈って個人的な啓示を求め、それに従って行動を決定しているからです。

神がその子供たちを一つにしようとされるときには、一人一人に話しかけられます、とサムは説明しています。「神はすべての国々やすべての舌が神を礼拝することになると言っておられます(モーサヤ 27:31 参照)。様々な人々と会うことにより、わたしは異なった文化を大切にする気持ちを学んでいます。しかし、そのような多様性を経験することで、確かに、神が平和のうちにわたしたちを一つにしようという偉大な計画をお持ちであることを感じることもできるのです。」

最終的な集合の場に到着する

こうしたヤングアダルトたちが、ヤングアダルトセンターに集うことによって受ける力をひしひしと感じていることは確かですが、同時にこれら教会の将来の指導者たちは、これが単なる始まりでしかないことも理解しています。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が教えたように、最も大切な集合の場所の一つは神殿なのです。¹

サムは、センターで自分の周囲を良い友達で囲むことによって主の宮居に入るための備えをしてきました。サムはこう言っています。「こんなに様々な場所から来た多くの人々と知り合うことができたおかげで、世界のことについて前向きに考えられるようになりました。わたしは、自分の友人たちのためにも良い模範でいたいと願っています。そういう思いでいたために、神の影響を受けるに



わたしたちが皆神の子であることを 知ることによって生まれる強さ

「わたしたちの実に豊かな多様性の中にさえ強さがあります。しかし、神からわたしたち一人一人が賜った責任の中には、さらに偉大な強さがあります。それは、神のあらゆる息子娘を高め、祝福をもたらすために働くという責任です。そこには出身民族や国籍といった違いはまったく関係ありません。」

ゴードン・B・ヒンクレイ大管長 (1910 - 2008 年)
Teaching of Gordon B. Hinckley, (1997 年), 664

しても、神殿に入るにしても、よりふさわしくなることができたのだと思います。」

バプテスマを受けて1か月が過ぎたころ、バーバラはもう神殿に参入することについて考え始めていました。センターで行われた家庭の夕べのレッスンに参加したときのことです。レッスンが終わると、次々に質問が始まりました。

「自分にとって神殿はどんな意味があるのかを理解している友人がいたので、おかげで、わたしも自分にとって神殿がどんな意味を持つのか、理解できるようになりました。友人たちが神殿について説明してくれているとき、わたしは聖なる御霊を感じました。」バーバラは当時を思い出してこう語っています。「わたしは、自分が結婚式を挙げるのに最適な場所をいろいろと考えていました。でも、すてきな教会だとかビーチといった場所が、神殿とは比較の対象にすらならないことが分かったのです。その瞬間から神殿が単なる建物以上の存在になりました。何か待ち望む対象、いつか将来の伴侶と一緒に行く場所になったのです。」

エリザベスも、神殿を最も大切な目標の一つに定めています。「神殿まで旅行ができるとなると、わたしはまるで100万ドルを手に入れたときみたいに、笑顔になってしまいます。」エリザベスはそう言っています。「わたしは、神があらゆる人に神殿に行って、わたしたちのために用意されているすべての祝福と賜物を受けてほしいと望んでおられることを知っています。神殿に参入すること、そして神殿にふさわしい状態を維持することこそ、ほんとうの意味での成功です。わたしは神殿に入って、神の最も近くに、つまりこの地上でふるさとの最も近くにいることができるのです。」

もちろん、日の栄えの王国は究極の集合場所です。バーバラはそこが空席なく埋まっていることを願っています。「キリストは、天父のみもとに行くためにはキリストを通じて行くほかはないと言われています。また、この生涯でわたしたちのできる最大のことの一つは、互いに仕え合うことだとも言われています〔ヨハネ21:15-17参照〕。そして、互いに仕え合うということは、天父のみもとに戻れるように人を助けることです。だって一人ではそこへ行きたくないでしょう。」■

注
1. デビッド・A・ベドナー「名と地位を立派に維持する」『リアホナ』2009年5月号、97参照

世界中の集合の地

教会のヤングアダルトセンターは、神権の権能の指示の下に、多くの場合、地域七十人からの指示の下に組織されています。2011年の段階で、アフリカの3か国、ヨーロッパの28か国、アメリカ合衆国の7州、およびドミニカ共和国に設置されています。さらに情報が必要な場合、ビショップか支部会長に相談してください。



- | | | |
|---------------|--------|----------------|
| アフリカ | デンマーク | スコットランド |
| コンゴ民主共和国 | イングランド | スロベニア |
| 南アフリカ | フィンランド | スペイン |
| ジンバブウェ | フランス | スウェーデン |
| | ドイツ | スイス |
| | ギリシャ | ウェールズ |
| 中央アメリカ | ハンガリー | |
| ドミニカ共和国 | アイスランド | アメリカ合衆国 |
| | アイルランド | アリゾナ |
| ヨーロッパ | イタリア | カリフォルニア |
| アルバニア | モルドバ | ジョージア |
| オーストリア | オランダ | インディアナ |
| ベルギー | ノルウェー | ルイジアナ |
| カーボベルデ | ポーランド | ニューメキシコ |
| キプロス | ポルトガル | ウィスコンシン |
| チェコ共和国 | ルーマニア | |

「福音に従って生活するために しなければならないあらゆることについて考えると、 圧倒されそうになることがあります。 何から始めたらよいでしょう。」

た さんのことを一度にやろうとすると圧倒されてしまうことがあります。例えば、一日のうちにセミナーと学校と仕事と神殿とミューチャルに行こうとすれば、圧倒されてしまうでしょう。しかし、福音に関連する活動を優先させ、それらを行えるよう計画を立てるならば、成長することができます。セミナーや祈り、「神への務め」「成長するわたし」などの福音に関連する活動は、10代のうちにできる最も大切な事柄です。もちろん、これらの活動には時間がかかりますが、従順になるために払うあらゆる犠牲は祝福をもたらします。

これらの活動のために時間を作る方法を知るには、祈って、時間の使い方について考えることにより靈感を求めてください。日曜日は、その週の福音に関連する活動や、その他の大切な活動の計画を立てるのに適した日です。また、両親や教会指導者とこのことについて話し合うことも役立つでしょう。

しなければならないすべてのことについて考える際、教会のレッスンやプログラム、活動は靈感により行われていることを覚えておいてください。これらはあなたが証を強め、戒めを守り、伝道に備え、神殿で結婚するうえで役立ちます。

福音に忠実であろうと努めるならば、たとえ圧倒されそうになるときでも、主の戒めを守るよう「主によって道が備えられ」ます(1ニーファイ3:7)。戒めを守ることにより御霊を生活の中に招くことができます。そして、御霊を感じるにより自分が霊的に順調に進んでいることが分かるでしょう。

小さな簡単なことを行う



主は今のところすべてのことについて完全であるようわたしたちに期待してはおられません。しかし、できるかぎりのことを行うよう望んでおられます。それが毎日の聖文研究や祈りのような基本的な事柄を始めることであれば、主はその努力をお喜びになります。福音に従って生活し、自分に求められる小さくて簡単なことを行うならば、一見多すぎるように思える主からの数々の求めに圧倒されることはなくなるでしょう。

ハンター・D, 17歳 (アメリカ合衆国, テネシー州)

家族とともに福音に従って生活する



家族とともに福音に従って生活することはとても大切です。家族の祈りや家族での聖文研究、家庭の夕べ、家族歴史を行うことにより福音に従った生活を始めることができます。これらの基本原則は、イエス・キリストの福音がわたしたちの生活にどのような影響をもたらすかを深く理解するうえで大いに役立ちます。

チェリー・O, 19歳 (フィリピン, ダバオ)

最善を尽くす



わたしは、全部を行おうとするとストレスを感じることに気づきました。その日一日だけ最善を尽くそうと努力するならばうまくいくでしょう。毎日聖霊に耳を傾け、祈りと聖文研究により主の近くにとどまるならば、万事はうまくいき、やがて主が望んでおられる人物となるでしょう。わたしは以前、完全に近づけるよう努力しても、完璧になれないと悩んでいましたが、そのようなことを主は望んでおられません。自分が不十分であると感じ自分を責めることは、主の御心ではないのです。ですからただあなたの最善を主にささげてください。そうすれば、生活に平安と喜びを見いだすことができるでしょう。

ザンディ・C, 16歳 (アメリカ合衆国, ワイオミング州)

主の助けを願い求める

毎日聖文を読み祈ってください。常に聖霊と調和できるよう努力してください。天の御父はあなたが福音に従って生活できるよう助けてくださいます。常に主に助けを求めてください。主があなたに求めておられることを行えるよう、主の導きを求めてください。正しい選択をする度に、聖霊がおられることを感じるでしょう。そのことにより、さらに正しい選択をしたいと望むようになるはずです。

タイス・S, 15歳
(ブラジル, リオグランデ・ド・スル)

主を信頼する



福音はわたしたちを悩ませるものではなく、わたしたちを助けてくれるものです。わたしたちが主を信頼するならば、主の福音をも信頼できます。そして信頼すれば、福音に従った生活をするに圧倒されそうになることはありません。なぜ福音に従って生活しているかを理解しているからです。

シャルロット・R, 14歳
(アメリカ合衆国, ユタ州)

目の前にある務めに焦点を当てる



人生でやらなければならないことすべてについて考えないでください。今行う必要のあることについて考えましょう。最善を尽くすならば、天の御父はうまくいくようにしてください。例えば、わたしはトーマス・S・モンソン大管長についてのレッスンをセミナーで教えるために準備しながら、7人の青少年(全員わたしより年上)が耳を傾け、学び、興味を示し続けてくれるようにするにはどうすればよいか考えていました。そこで、できるかぎり生徒に参加してもらおうにしようと思いました。そして、レッスンはうまくいきました。最善を尽くして目の前の務めを果たしてください。

ベサニー・F, 15歳
(アメリカ合衆国, ケンタッキー州)

徐々に向上する

主は、「ここにも少し、そこにも少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を加えて」わたしたちに教義を教えると言われました(2ニーファイ28:30)。一度に福音をすべて理解できると期待してはなりません。慈愛や信仰、希望などの基本的なことから始め、聖文を研究しそれを日々実践し、常に祈るならば、わたしたちは徐々に向上し以前よりもキリストに近づいていることに気づくでしょう。

リレー・C, 16歳(アメリカ合衆国, ユタ州)

次回の質問

「兄がポルノグラフィーの問題を抱えています。兄はビショップとともにその問題に取り組んでいるので、わたしは彼を支えたいと思っています。でも、このことで兄への信頼に変化が生じてしまいました。どうしたらよいでしょうか。」



基本的なことから始める

「偉大な彫刻家や芸術家は、才能を伸ばし完成させるために膨大な時間を費やします。のみや筆やパレットを持つだけで、すぐに才能を完璧の域にまで伸ばせるとは期待しません。習得していく中でたくさん間違いをすることを承知していますが、まずは基本的な事柄、最も重要な基礎から始めます。

わたしたちにも同じことが言えます。

同じような方法で、すなわち、最も大切なことを最初に行うことで、人生の達人となっていくのです。わたしたちは皆、最も大切な選びとは何かを知っています。それは、生活を改善し、さらに大きな幸福と平安をもたらすような選びです。そこから始めなければなりません。そのことに最大の努力をする必要があります。」

十二使徒定員会
ジョセフ・B・ワースリン長老(1917 - 2008年)
「3つの選び」『リアホナ』2003年11月号, 80

あなたの意見をお聞かせください。2012年7月15日必着で liahona@ldschurch.org に投稿するか、liahona@ldschurch.org まで電子メールをお送りください。下記へ郵送することもできます。

Liahona, Questions & Answers 7/12
50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

投稿文、電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず含めてください。(1)氏名、(2)生年月日、(3)ワードまたは支部、(4)ステークまたは地方部、(5)意見と写真の掲載に対する同意文(18歳未満の場合は保護者が書いた同意文も必要です〔電子メール可〕)。



十二使徒定員会
ニール・L・アンダーセン長老

あなたは十分に知っています

少しずつ、教訓に教訓を加えられながら改心していきます。

わたしたちはまず、主イエス・キリストを信じる信仰という基盤を築きます。

40年近く前、伝道に出るという勧めについて深く考えていたとき、わたしは自分が不十分で準備ができていないと感じました。こう祈ったことを覚えています。「天のお父様、わたしはほとんど知識がありません、どうして伝道に出ることができるのでしょうか。」わたしは教会を信じていましたが、自分の霊的な知識はとても乏しいものだと感じていました。祈っていると、このような気持ちを抱きました。「あなたはすべてを知っているわけではありません。しかし、あなたは十分に知っています。」この確信は、わたしに宣教師となる勇気を与えてくれました。

霊の旅路は生涯続きます。始めからすべてを知っているわけでも、旅の間にすべてが分かるわけでもありません。少しずつ、教訓に教訓を加えられながら改心していきます。わたしたちはまず、主イエス・キリストを信じる信仰という基盤を築きます。そして、悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物^{たまもの}を受けるといふ原則と儀式を心に刻みます。さらに絶えず祈ることを決意し、進んで従順になり、モルモン書の証人として前進するのです。

そして揺らぐことなく、忍耐し続け、生涯を通じて進歩を遂げていきます。時に、次のような答えを主から受けます。「あなたはすべてを知っているわけではありません。しかし十分に知っています。戒めを守り、正しいことを行う

のに十分なだけを知っています。」ニーファイの次の言葉を思い起こしてください。「わたしは、神がその子供たちを愛しておられることは知っていますが、すべてのことの意味を知っているわけではありません。」(1ニーファイ 11:17)

わたしたちは皆、霊的な力や、靈感や啓示を受けるときがあります。わたしたちは、そうした霊的な経験を心の奥底にとどめておく必要があります。そうするなら、困難に直面したときのために霊的な食糧貯蔵をすることができるのです。イエスは、御自身が教え、命じることを行おう、心に留めなさいとおっしゃいました。(ジョセフ・スミス訳ルカ 14:28〔ルカ 14:27 (英文)の脚注b〕参照)

何年前かに、友人が悲惨な事故で若かった娘を亡くしました。夢や希望は打ち砕かれ、友人は堪え難い悲しみを感じました。彼はそれまで教えられてきたことや、宣教師として教えてきたことに疑問を抱き始めました。わたしは彼の母親から、息子に祝福を与えてほしいという手紙をもらいました。彼の頭に手を置いたとき、あることを告げた方がよいと感じました。それは、今までまったく同じようには考えたことのないものでした。信仰とは単なる感情ではなく、決断を伴うものであると感じたのです。友人は信仰を選ぶ必要がありました。

彼はすべてを知っているわけではありませんでしたが、十分なだけは知っていました。



そして信仰と従順の道を選びました。彼はひざまずき祈りました。そして霊の平静さを取り戻したのです。

その友人を祝福してから何年かして、彼の伝道中の息子から手紙が届きました。確信と証に満ちた手紙でした。そのすばらしい手紙を読んでいると、この上なく困難な状況の中で信仰を選んだ一人の父親の決断が、次世代に大きな祝福を与えていることに気づきました。

困難、苦難、疑問、疑い。これらはこの世の生涯に付き物です。しかしわたしたちは独りではありません。主イエスキリストの弟子として、わたしたちには光と真理という巨大な霊的蓄えがあります。恐れと信仰はわたしたちの心に同時に存在することはできません。苦難にあふれる今の時代に、わたしたちは信仰の道を選びます。イエスは言われました。「恐れることはない。ただ信じなさい。」(マルコ 5:36)

長い年月を通して、わたしたちは重要な霊の成長を何度も繰り返します。そして、「光を受け、神のうちにいつもいる者は、さらに光を受ける。そして、その光はますます輝きを増してついには真昼となる」ことが分かり始めるのです(教義と聖約 50:24)。疑問や疑いは解消されるか、わたしたちにとって気にならないものになります。わたしたちの信仰は純真で清いものとなり、自分がすでに何を知っているかが分かるようになります。■

2008年10月総大会説教より

伝道に出るために、
長年の夢を追い求めるチャンスを
あきらめることはできますか？

エリス・アレクサンドリア・ホームズ



HOPOATE
964



240

GAME 2
ANZ STADIUM
15TH JUNE 2011



2011



伝道 のためのタイムアウト

オーストラリアのラグビーのスター選手であるウィリアム・ホポアテは、汗が顔を伝う中、ボールから目を離しませんでした。ニューサウスウェールズ州を代表する彼のチーム、ザ・ブルーズはライバルであるクィーンズランド州のザ・マルーンズとその年一番の大勝負をしていました。試合開始から20分、ウィルのチームは負けていたので早く追いつかなければなりませんでした。この試合はウィルにとって相手チームとの初めての試合だったので、自分のプレーをたくさんアピールしたいと思っていました。また彼はチームでいちばん若く、これまでステートオブオリジン（訳注——両州で毎年行われる大きな試合）に出場した選手の中でも2番目に若い選手でした。

ウィルはボールがチームメイトにパスされ、次に自分のところに投げられるのを見ました。彼はジャンプしてボールをキャッチしました。「よし、取ったぞ！」ウィルはボールを抱え、ゴールラインに向かって走り出しました。相手のディフェンスはすぐ後ろを追って来るので、彼はフィールドの上を疾走しました。ゴールまであと数ヤードでした。フィールドの端にあるゴールラインを越えるか越えないかのところで、もう時間切れになりそうでした。彼は前に向かって突き進み、ゴールできると信じてジャンプし、地面にボールをたたきつけました。観客は一瞬静まり返りました。間に合ったのでしょうか？ 次の瞬間、観客からどっと歓声がかき上がるのが聞こえました。

ラグビーをして育つ

ウィルの両親は彼が4歳のときに、彼を地元のラグビークラブに入れました。4歳というはまだ幼いのではと思うかもしれませんが、ウィルは当時から「フッティー」（「ラグビー」の俗語）が好きでした。ウィルが12歳になったとき、ラグビーは単なる遊びではなくなり、ジュニアリーグのチー

ムの選手に選ばれました。そして16歳になったときには、プロのジュニアリーグのチームでプレーしていました。

オーストラリアでは20歳になると、プロの大人のリーグでプレーすることができるようになります。ウィルは18歳のときにすでに多くのオファーを受けていました。彼は最も注目されていた新人でした。あるチームは、その年齢の選手では異例の150万オーストラリアドルの契約をオファーしました。しかしそれはウィルが自分の近い将来に思い描いていたものではありませんでした。ウィルは伝道に出ることを決めていたのです。

伝道に出る決意をする

伝道に出るか、ラグビーリーグの契約にサインするかを発表しなければならなかったとき、ウィルにとってその決断は簡単でした。「青少年のときに、自分の思いと心の中に伝道に出るという目標を定め、この世的な望みによってそれを変えないと心に決めました」と彼は語っています。

世の中の人には「お金のことは？ 契約は？ プロとしてラグビーをするという長年の夢は？ 契約にサインしていたら彼の人生はどう変わっていたのだろうか？」などと聞くかもしれませんが。「それはわたしの家族を経済的に助けるものになったでしょう。また、数年先の将来も保証してくれるものであったかもしれません」と彼は認めました。

ではどうして彼は契約にサインしなかったのでしょうか？ 「伝道は、主がわたしのような教会の若い男性に求めているものです」と彼は言います。「伝道に出ることは、この世での19年間の人生で主がわたしにしてくださったことに対して感謝する方法なのです。そして結局、伝道に出ないことを選んでいたら、今のような幸せな気持ちはなかったと思います。フッティーが自分から逃げることはないので、伝道に出ることを決めました。」

ウィルの発表は多くの人を困惑させ、動揺させました。教会員でない友人について彼はこう言いました。「みんなはわたしが行くほんとうの理由を知りません。わたしがただ2年間試合から離れるようにしか見えなと思います。」ウィルは彼らにこう言いました。「わたしは人々にイエスキリストについて教え、奉仕します。これはわたしがしたかったことです。」ウィルの説明を聞いた後、友人たちは彼をもっと応援するようになりました。

伝道への備え

ウィルはただ伝道に出たいと思うだけでは十分でないことを知っていました。準備することが大切だと分かっていました。彼がしたことの一つは、専任宣教師と一緒に教えに行くことでした。「宣教師に質問に答えるように言われたとき、自分で考えていなかった言葉が頭に思い浮かんで、求道者が少しでもよく理解できる助けになったと思います」と彼は言います。「そして、わたしが教えるのを手伝った求道者のうち、何人かが最近バプテスマを受けました。それを見ることができたのは自分にとって祝福でした。」

ウィルは現在、オーストラリア・ブリズベン伝道部で働いて



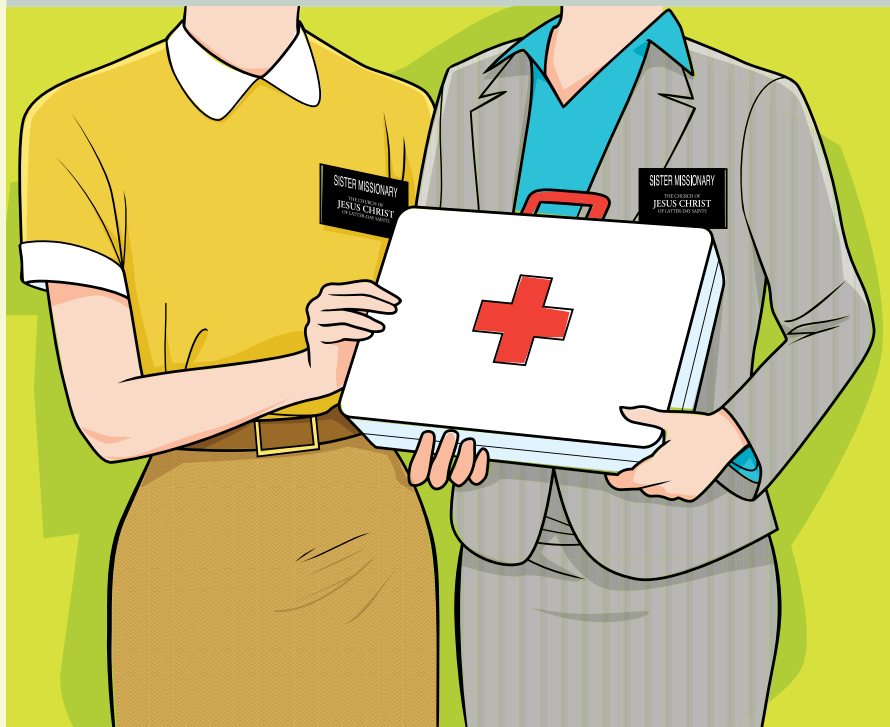
いますが、ラグビーから完全に離れたわけではありません。ラグビーをすることはできませんが、ラグビーに対する熱意と同じ熱意をもって宣教師として働いています。伝道に出る前に彼はこう言いました。「ラグビーをするときも、主に仕えるときも同じ情熱と意欲を持っています。スポーツでは成功するために一生懸命頑張らなくてはなりません。わたしは福音を聞きたい人々を探すために一生懸命働いています。ですから宣教師の働きもスポーツと同じことが言えると思います。」

名誉ある帰還

スポーツ界のスター選手がある期間、特に2年もの間、そのスポーツから離れるとき、人々はその選手が復帰したときどうなるのか疑問に思うことでしょう。ウィルは伝道に出ることによって多くのものをあきらめることになるを知っていますが、同時に、より良いものを得るためにそうしていることも知っています。「伝道は大きな犠牲だと思います。でも喜んでその犠牲を払いたいです」と彼は言います。「何が起こるか分かりません。2年間スポーツを休むのは確かに長いとは思いますが。個人的には戻って来たらまたフットイーをしたいと思っています。」

プロとしてラグビーをするのはウィルの長年の夢でしたが、彼は伝道に出ることによる永遠の祝福についても知っています。「ラグビーの試合では、勝ったり得点したりする度に喜びがありますが、その喜びは数週間や数日しか続きません。それくらいの思い出にしかありません」と彼は説明します。「一方、友人や求道者が教会に来て、福音が彼らの人生を永遠に祝福すると分かるとき、わたしたちも永遠の喜びを得ることができるでしょう。」■





改め、水に沈めるバプテスマ、聖霊の賜物を受けること、そして最後まで堪え忍ぶことを通してイエス・キリストの贖いを受け入れることによるのみ可能であることを説明しました。

わたしたちは、肉体的な癒しを信じているが、最も大事なものは霊的な癒しだと説明しました。そして、そのような癒しは毎日目にしていたものでした。人々が悔い改めて人生を変え、キリストに従わなければ、肉体的に癒されてもあまり意味はありません。

わたしたちが冷静に答えることができるように御霊が導いてくださったので、その場の張り詰めた雰囲気は和らぎ、その兄弟は攻撃するのをやめ、わたしたちはメッセージを伝えることができました。

何か月かがたち、伝道を終えた後、わたしは『リアホナ』に記されたジョン・タナーの伝道時代の日記からの引用を読みました。「改心は最もすばらしい奇跡だ。病人を癒し死者をよみがえらせることよりもすばらしい。癒された人もいつかまた病に冒されついに亡くなるが、改心の奇跡は永続し、改宗者自身のみならずその子孫の永遠にまで影響をもたらす。すべての世代が、改心の奇跡により癒され死から贖われるのだ。」¹

追い詰められた二人の宣教師を御霊が鼓舞し、わたしたちの目的は人々の霊を救うことだと思い起こさせてくださったことをとても感謝しています。■

注
1. ジョン・タナー、スーザン・W・タナー「新会員が強さを保てるように助ける」『リアホナ』2009年2月号、21

いや 霊的な癒しの奇跡

エリザベス・スティット

ある日、ブラジルのコロンボで、最近改宗した会員を同僚と訪問したとき、家は家族でいっぱいになっていました。家の中はこみ合っていました。わたしたちがメッセージを伝えるように中に招いてくれました。メッセージを伝えようとしたとき、その会員の兄弟が部屋に入って来ました。彼は教会員ではなく、わたしたちの訪問を喜んでいませんでした。わたしたちに反論する機会をうかがっているようでした。

彼は自分の教会の全会員と病気の人が記されたノートを持っていました。彼はわたしたちに癒しの賜物^{たまもの}を信じているか聞きました。「もちろんです」とわたしたちは答えました。「それで

は」と彼は続け、「わたしはこのノートに書いてある人を全員癒しました。あなたたちは何人の人を癒しましたか」と聞いてきました。

わたしたちは神権や信仰、そして物事が神の望みによって行われることについて説明しようとしたのですが、しばらくすると、自分たちが追い詰められ、攻撃されているように感じました。

そのとき、わたしたちが必要だと思った「まことにその瞬間」(教義と聖約100:6)、何を言うべきか御霊がささやいてくださいました。自分たちは癒しを信じているが、末日聖徒イエス・キリスト教会の宣教師としての務めは、教える人に霊的な癒しを与えることであり、それは信仰、悔い

謙虚になつて ひざまずく

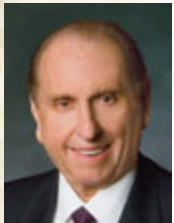
「謙虚に、そして神を信頼して祈るなら、指示と平安がもたらされます。」

十二使徒定員会 リチャード・G・スコット長老
「祈りという天与の賜物を用いる」『リアホナ』2007年5月号, 8



教義と聖約 135:3

預言者ジョセフ・スミスは殉教する前に、すべての人類を祝福する事柄を多く成し遂げました。



覆されることのあり得ない誉れと名声

「1844年6月27日のこの出来事（ジョセフ・スミスとハイラム・スミスの

殉教）は悲劇ですが、ジョセフ・スミスの殉教で教会の発展が終わったのではないことに安堵を覚えます。命をねらった人々は、ジョセフがいなければ教会は崩壊すると思っていました。しかし、ジョセフが述べた力強い真理の証も、翻訳した教えも、宣言した救い主の御言葉もすべて、ジョセフを神の預言者だと公言する、全世界の会員の心に今も生き続けています」

トーマス・S・モンソン 管長
「預言者ジョセフ・スミス——模範による教師」
『リアホナ』2005年11月号, 69

神の賜物と力

ジョセフ・スミスは「神の憐れみによって、神の力により」（教義と聖約 1:29）、また、ウリムとトンミを含む「前もって備えられた手立てによって」モルモン書を翻訳しました（教義と聖約 20:8）。

自らの血をもって自分の使命と業を証明した

賛美歌「たたえよ、主の召したまいし」（『賛美歌』16番）の歌詞を読んで、日記に預言者ジョセフ・スミスについて感じることを書きましょう。

主の預言者であり聖見者であるジョセフ・スミスは、ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた。二十年という短期間のうちに、彼は、彼自身が神の賜物と力によって翻訳して、両大陸で出版する仲立ちとなった「モルモン書」を出し、その書に載っている完全な永遠の福音を地の四方に送り出し、人の子らのために「教義と聖約」という本書を構成する数々の啓示と戒め、およびそのほか多くの知恵ある文書と指示を出し、何千人もの末日聖徒を集め、一つの偉大な都市を建設し、覆されることのあり得ない誉れと名声を残した。彼は神とその民の目に偉大な者として生き、偉大な者として死んだ。そして、昔の、主の油注がれた者のほとんどがそうであったように、彼は、自らの血をもって自分の使命と業を証明したのである。彼の兄ハイラムも同様であった。彼らは生前に分かたれることはなく、また死後も離れることはなかった。

聖見者


- 聖見者とは——
- 聖見者は「肉体の目に見えないもの」を霊の目で見よう立てられました（モーセ6:35-38参照）。
 - 聖見者は、啓示者であり、預言者でもあります（モーサヤ8:13-16参照）。
 - 聖見者は、過去、現在、未来を知っています。
- scriptures.lds.org の日本語を選択し、「学習ヘルプ」の聖句ガイドから、「聖見者」を参照してください。

さらに多くのことを成し遂げた

「ジョセフ・スミスが携わっていた業はこの世だけにかかわるものでなく、来るべき世とすでに過ぎ去った世ともかかわりがあります。言い換えれば、かつて地上に住んだ人々、現在生きている人々、わたしたちの後に来る人々にかかわりがあります。……永遠から永遠にわたって全人類の家族に関係があるのです。」

ジョセフ・F・スミス大管長（1838-1918年）、
『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』
（1998年）、13

編集者注——このページの目的は、聖句の完全な解釈を示すことではありません。このページを参考に各自で学習を深めてください。



わたしは選択により どこに 至るのでしょうか

教会機関誌
アダム・C・オルソン

カーリーナは決断を変えることで
方向を変えることができるでしょうか。

カリーナの笑みは消えていきました。汗もかき始めました。その週がいつにも増して暑かったわけではありません。カーリーナは助けを求めて周りを見渡しました。でもオープンハウスの混雑にもかかわらず、レポーターと一緒にいるカーリーナのことも、彼女の疑問にも、だれも気づく様子はありません。

その瞬間まで、17歳のカーリーナはウクライナ、キエフ神殿のオープンハウスで楽しくボランティアをしていました。今は、心待ちにしているニュースのレポーターを前に、舌がはりついたように感じました。

カーリーナは、今克服しようとしている、自分が過去に犯した過ちが原因で、神様が自分を助けてくださらないのでは、と心配していました。

大勢について行くはどこに至るでしょうか

カーリーナは教会の教えによって育てられ、神殿結婚をする日を夢見ていました。でも10代の若者の多くがそうであるように、受け入れてもらうことを切望したのです。

カーリーナは自分の姉のように美しく、人気者になりたいと思っていました。目立ってすてきだと思われるのを夢見ていましたが、飛び出しすぎてばかにされることは恐れていました。警察学校で父の軌跡をたどりたい、という願いはただプレッシャーを増すだけでした。2,000人の生徒の中

で女性はわずか70人です。カーリーナは注目を楽しむと同時に恐れてもいました。

周りとうまくやりたいという望みから、カーリーナは愚かな選択もしました。「世の引力は強かったのです」とカーリーナは言います。「わたしの周りの人たちは、飲酒、喫煙をしていました。強く勧められて、屈してしまったのです。のんきな仲間の一員となって、楽しんでいました。」

カーリーナは、自分のしていることが間違いだとわかっていたが、大勢について行き神から離れてしまうという選択により自分がどこに至るのかは考えていませんでした(マタイ7:13-14 参照)。

変わることを選ぶとは、選択を改めること

ある日、カーリーナが心引かれていた男性が、彼女の教会の教えに敬意を感じていると言いました。

カーリーナはその教えによく従っていないことで自分を情けなく思い、ついに立ち止まって自分がなすべきことを考えてみました(ハガイ1:5-7 参照)。カーリーナは、自分の決断が、神や、聖霊との交わり、そして自分の夢である永遠の家族から遠ざかる方へ自分を導いていることに気づきました。

方向を変える唯一の方法は、毎日の自分の決定を変えることでした。¹でも、すでに間違った道を来すぎているのではないかと心配になりました。変わるには遅すぎるのでしょうか。

カーリーナは、まず祈って毎日聖典を読むことから変わり始めようと決心しました。日記を書き始め、これが日々天父から助けられていることを認識するのに役立ちました。会話が悪い方向へ向かうと、話題を変えるようにしました。

カーリーナにとって最も難しかった決断は、悪い影響を持つ友人を選ぶよりは少しの間友人を一人も選ばないことでした。高い標準の友人を探し始めたのです。

希望の大切さ

それから数か月間、カーリーナのするすべての決定において、敵対するものが疑いと恐れで彼女を責めました。救い主に従う努力をする価値があるのだろうか、と迷うこともありました。なりたいと思う自分の姿が、あまりに遠く感じました。

でもカーリーナは、両親や強い証^{あかし}を持った他の人々の生活を見て、疑いや恐れよりも力強い何かがそこにある、と感じました。悔い改めのおかげで希望があるということもわかりました。

「正しく生きることは可能だと気づきました」とカーリーナは言います。「わたしたちは自分の間違いによりとがめられることはありません。天のお父様はわたしたちに、悔い改めて方向を変えるチャンスを与えてくださったのです。」

過去の選択から離れて日々救い主に従おうとする
ことで、カーリーナは天の御父が忍耐強い方であることを学びました。「天のお父様は、より善い人になるチャンスを次から次へと与えてくださいました。困難なとき、天のお父様が助けてくださいました。」

従うことを選ぶなら、助けがある

カーリーナは胸を張ってレポーターの方へ向き直りました。笑顔が輝いていました。それまでに天の御父はたくさんカーリーナを助けてくださったので、彼女は今も天の御父が自分を助けてくださると確信していました。

レポーターが質問を終えると、カーリーナは笑って手を振りました。レポーターもほほえみ、歩き出しました。カーリーナは自分が何を話したのかほとんど覚えていませんでしたが、心に感じたことはこれから長い間覚えていることになるでしょう。天の御父に従うことを選ぶ人の手の届くところに天の御父がいつもいらっしゃると分かったのです。■



悔い改めを選ぶ

「もし罪のゆえに敵のとりこになることがあったなら、皆さんは牢の扉を内側から開ける鍵を持っていることを思い出してください。救い主イエス・キリストの贖いの犠牲によって、洗われて清くなることのできるのです。」

皆さんは不安に駆られ、大なり小なり過ちを犯した自分は、救いにふさわしくないとthinkかもしれません。でも、そのようなことは決してないのです。……悔い改めは、どのような痛みであれ癒すことができるのです。」

十二使徒定員会会長 ボイド・K・パッカー会長
「若人への助言」『リアホナ』2011年11月号, 18

注
1. トーマス・S・モソン「完成への道」『リアホナ』2002年7月号, 111 - 114 参照。

シャニーン・クロワード

若い女性の指導者たちは、一泊旅行がキャンプの備えになると考えました。そして合衆国アリゾナ州南部のサンペドロ川の川岸を練習キャンプの場を選びました。

寝袋を広げた後は、わたしもほかの子たちも、探検に行って川に入りたいと思っていました。指導者たちは、安全と救急の話合いが先だと考え、わたしたちは皆、レッスンのため川辺の日陰に座りました。

太陽の光に輝く川が見え、集中するのは困難でした。ブラウン姉妹（仮名）が話す間、そよ風でポプラの葉が揺らめいていました。以前聞いたことのあるレッスンだったので、わたしにはなぜそれが今必要なのか理解できませんでした。出血したら傷に圧力をかけて押さえることくらいみんな知っているのに、また教えていたのです。

より良い 模範

解散する前に、指導者たちは靴を脱いで川に入らないようにと何度も言っていました。「何が川底にあるかわからないのだから、自分の足は自分で守るのですよ。」

わたしが川べりに着くと、もう川の中で水しぶきをあげている子たちもいました。川は泥で濁っていました。向こう岸までずっと深さは30センチにも満たないし、危険だとは思いませんでした。

わたしは靴を脱ごうと決めました。1足しか持ってきていなかったのを、それをぬらしてしまっただけで一日中ぬれた靴を履くのは嫌だったのです。わたしの二人の親友のマーサとエリザベスは、ともに指導者たちが言ったことをわたしに言いました。それでもわたしは靴を脱ぎ、その理由を説明しました。

指導者の指示に従っていたらよかったのに、わたしたちはその指示が自分たちには当てはまらな
 思っていたのです。

10分前のレッスンはよく分かってきました。エリザベスの周りに立って彼女が出血しているのを見ていた子
 たちが、足を高くして傷口を押さえました。

エリザベスは病院に連れて行かれ、危うく足が半分なくなるところだったと言
 われました。何十針も縫い、治るまでには相当時間がかかるということ
 でした。次に会ったときには、松葉杖をついていました。

親友をあれほどひどく傷つけるようなことを、自分が説得してさせること
 があるなどとは夢にも思っていませんでした。

今は友人に対して、より良い模範になれるように努力しています。それから、
 指導者の話にも、もっと耳を傾けたいと思っています。指導者が話すこと
 には理由があるのです。■

マーサも靴を脱ぎました。エリザベスは躊躇してました。わたしは水の中
 中に歩いて入りながら、皮肉まじりの声で言いました。「履いていたいなら履
 いていけば。」

エリザベスは座って靴を脱ぎ、水に入って来ました。そして5歩ほど歩くと、
 立ち止まりました。顔は青ざめ、静かな声で言いました。「あっ、嫌だ。」
 水から足を上げると、切り傷から血が流れ落ちていました。割れた瓶を踏
 んでしまったのです。

血を見て、わたしは呆然としてしまいました。ついさっき救急法のレ
 ッスンを受けたばかりなのに、何をしたらよいのか見当もつきませんでした。
 わたしは助けを呼びに走ることにしました。他の二人が彼女が水から上がる
 助けをしていました。

わたしはブラウン姉妹を見つけ、起きたことを伝えました。ブラウン姉妹
 には冗談だと思われました。でも実際にエリザベスが道端に座って足から
 血がほとばしっているのを見ると、彼女に駆け寄って叫びました。「傷口
 を押さえて！」



聴く

「どうか、道徳について再考察することで時間を無駄にしないでください。
 悲劇の教訓を個人的な生活ですべて学ぶ

必要があるなどと思わないでください。主の御言葉を聴きましょう。指導者に
 聞き従いましょう。両親の話を聴きましょう。自らの内にある最善のものに耳
 を貸しましょう。そして何より、すべてのことを教えてくださる、甘く、優しく、否定
 することのできない御霊のささやきに耳を傾けましょう。」

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホルランド長老
 "We Want the Best for You."
 New Era, 2010年1月号, 5

ほんとうの友達



サラ・チャウ

実話をもとに書かれました。

「あなたの友人たちはまことに
あなたのかたわらに立っている。」
(教義と聖約 121:9)

そのメモは、ジェレミーが手わたしてくれたのですが、角にジグザグ模様がついた水色の紙に書かれていたので、レーチェルからだと分かりました。メラニーが周りをみわたすと、読書の時間は終わって、クラスのみんが本の片付けをしていました。

メラニーはメモの書き出しが分かっていた。「わたしの親友へ。」メラニーはにっこりしました。レーチェルとは2年生のときからの友達です。「わたしたちはとてもちがっているけれ

ど、それでも親友だわ」とメモを開きながら思いました。

わたしの親友へ、
たばこを吸う？
——レーチェル

メラニーはびっくりしました。「いつも一緒にいるのに、レーチェルったらわたしがたばこなんか吸わないって知らないのかしら。」

そこでメモの下に返事を書きました。
吸わないわ。たばこなんていやなもの。
どうしてそんなこと聞くの？

——メラニー

メラニーはメモをまたジェレミーにわたしました。するとすぐにまた返事が来ました。メモにはこうありました。

おばさんの家から
たばこを1箱こっそり持って来たの。
放課後、一緒に吸ってみない？
——レーチェル

メラニーはメモをじっと見つめてから返事を書きました。

レーチェル、どうしてたばこなんか吸いたいの？体に悪いのよ！新しいことに挑戦するのが好きなのは知っているけれど、自分を傷つけるようなことはしないで。

——メラニー



レーチェルは返事をよこしました。
 ちよつとくらい吸ったって平気よ。
 1箱全部吸うわけじゃないもの。
 ——レーチェル

メラニーは泣きそうになりながら、
 次のように返事を書きました。
 あなたはわたしの友達よ。
 あなたが大好きなの。
 たばこなんか吸わないで。
 ——メラニー

メラニーはレーチェルがメモを読ん
 でいるのを見ていました。今度はレー
 チェルが泣きそうです。メモをずっと

にぎりしめていました。そして返事が
 返って来ました。メラニーがメモを受
 け取ると、そこにはこう書かれていま
 した。

ありがとう。
 わたしもあなたが大好きよ。
 たばこは吸わないわ。

メラニーは、もはんになることを選ん
 でよかったと思いました。レーチェル
 が正しい選択をしたのでほっとしま
 した。■

ある日友達の家に行くと、冷蔵庫に
 あビールがありました。友達はビール
 を飲み、わたしにも飲むようにすめま
 した。わたしはビールは飲まないと断り
 ました。友達が理由をたずねたので、体
 に悪いからビールを飲むべきでないと自
 分の教会で教えられていると答えました。
 あのとときビールを飲まなくてよかったと
 思います。知恵の言葉を守ること、体の
 健康と安全を保てることにも感謝してい
 ます。

サラ・C、8才（アメリカ合衆国、ネバダ州）

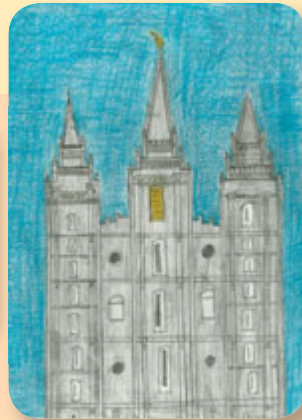


「わたしは、害になる
 ものを取らせません。」
 わたしの福音の標準

わたしたちのページ



ニーファイ・H, 11 才
(アメリカ合衆国, カリフォルニア州)



わたしたちは えいえんの かぞくに なります

おうさんに しんけんが あたえられていることに かんしゃし
ています。その おかげで わたしは おうさんから パプテ
スマを 上げることが できました。それに わたしたち かぞくは、
しんでん で むすびかためられています。えいえんの かぞくに
なれるので うれしいです。天の おうさまが 生きておられる
こと、よげんしゃの ことばが しんじつであることを
知っています。

アリアナ・C, 9 才 (ペルー)



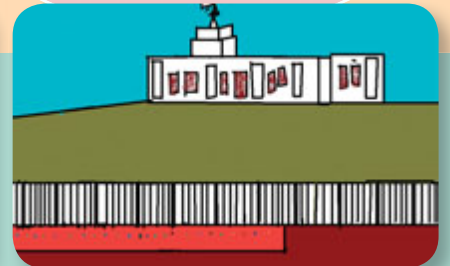
サイニャ・C, 12 才 (ブラジル)



ビミン・M, 7 才, (カンボジア)



「ぼくは しんでんに 行くのが すきです」
ナタン・P, 7 才 (イタリア)



ブライアン・C, 7 才 (コスタリカ)



とても
とくべつな ばしょ

ぼくは 9 才です。はじめて しんで
んに 行ったとき、おとうさんと とい
しょに 外で まっていました。ぼくたちは し
んでんの まわりを 歩いて どのように たてら
れているかを見ました。きれいな まちあいつに
入って、しずかで へいあんな 時間を すごしました。
そして、ときどき イエス・キリストや 十二しとの
しょうがいについて しずかに 話しました。おとう
さんと すわっているとき、しんでんが とても と
くべつな ばしょであると かんじました。

ラファエル・R, 9 才 (スイス)



「わたしの えいえんの かぞく」
カミラ・T, 7 才, (グアテマラ)



エステバン・A, 11 才, (コロンビア)



ロスティーク・Z, 4 才 (ウクライナ)

きんろう え しゆくふく 勤勞から得られる祝福



しちじゅうにん
七十人
ちやうろう
ペア・G・マーム長老

「わたしたちの力の限りすべてのことを喜んで行おう。」
(教義と聖約 123:17)



スウェーデンで少年時代を
過ごしていたころ、父は何
人かの伝道部会長の顧問
として奉仕していました。父はこのめ
しを果たすために週末出かけることが
よくありました。たとえぎせいをはら
わなくてはならないことがあっても主
に仕えることの大切さを、父は模範を
通してわたしやきょうだいに教えてくれ
ました。

またわたしは若いときから体を使っ
て働くことの価値を学びました。夏の
間、わたしは何キロもはなれたいちご
農園に自転車で通い、毎日何時間も
いちごをつんでお金をかせぎました。

わたしたち家族はある人の農場の

中に夏の小別荘を所有してしまっ
たが、そこには電気も水道もありません。
ですからわたしたちはまきを割り、
井戸から水を運ばなければなりません。
その農場を所有していた
農家の人はわたしを信頼してくれたの
で、朝は乳しぼりのために牛を納屋に
入れ、それが終わると牛を外に出す
仕事をわたしに任せてくれました。
干し草をかってそれを積み上げ、馬を
使って干し草の束を納屋に運びま
した。

体を使って働いた経験や、主のわざ
に献身する父の模範はわたしの初め
での伝道に役立ちました。まだ16才
のとき、わたしはスウェーデン、フィンラ

ンド、ドイツ、そしてオランダの教会堂
建設のためのれんが積み職人として
めされました。この奉仕の間、たくさ
んの霊的な経験をしました。体を使
って正直に働くことは正しいことを
行う一つの方法であり、神と一致する
ことであると学びました。

めしを受け、それを果たすために最
善を尽くしたと報告できたら、それは
名誉なことです。めしを受け、主の王
国を建設するために自分の時間と才
能を使うとき、天のおん父がわたした
ちのために備えてくださった祝福を経
験し、実際にそれを目にするので
きるでしょう。■

絵
ダン
バー

今月のしょうきょうかいのテーマについて もっと 学ぶために
このレッスンと かつどうを つかうと よいでしょう。

わたしは ふくいんの げんそくを まもって 生活することで せいぎを えらびます

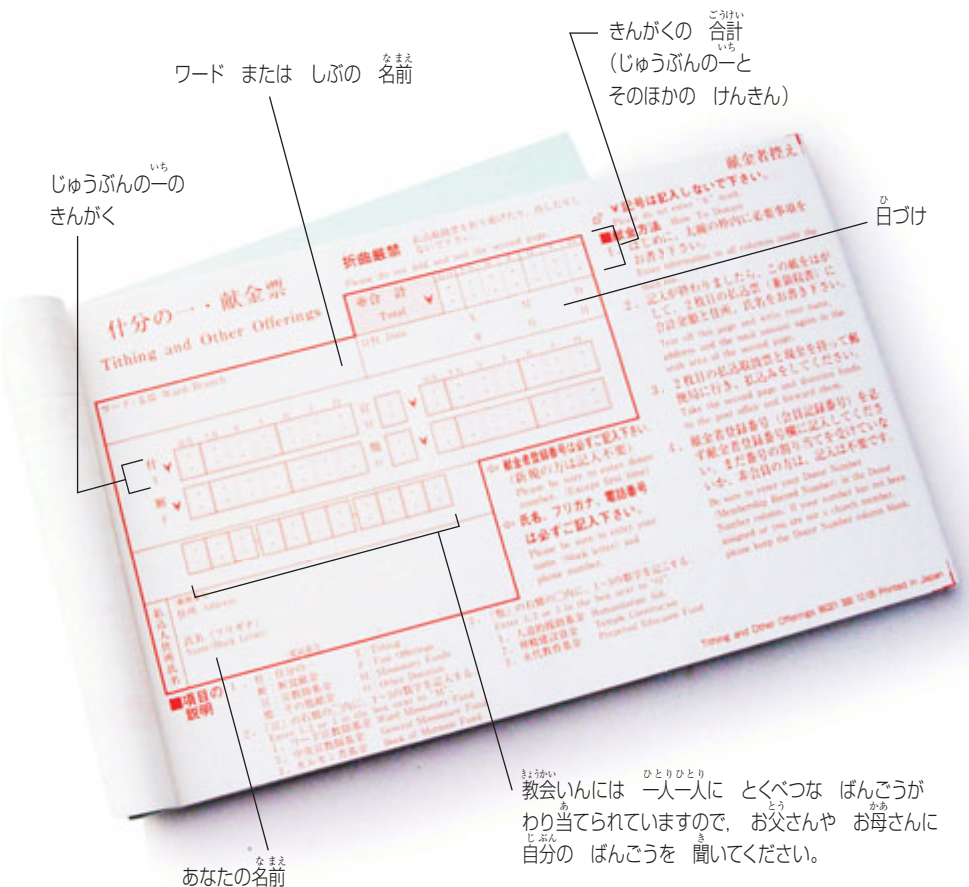
村の市場で にわりの たまごを ぜんぶ 売ってしまうと、ラモンは ポケットに入っている お金を チャリンチャリンと 鳴らしました。ラモンは 家にある じゅうぶんの一が 入っている びんのことを 考えました。日曜日に お金を ビショップに わたすつもりでした。ラモンは あたたかい 気持ちを かんじました。じゅうぶんの一を はらえるので うれしかったのです。

市場のお店は 売りのもので あふれていました。ラモンは 大すきな サッカーチームの ロゴ入りの カラフルな シャツを 見つけました。そのシャツを きて グラウンドを 走り、しょうりの ゴールを きめている 自分の すかたを おもいかべました。ねだんを見ると それは たまごを 売った お金 ぜんぶと じゅうぶんの一のお金を 足せば 買える ねだんでした。

ラモンは あたたかい 気持ちが きえてしまったのを かんじました。そのシャツが ほんとうに ほしかったのですが、天のお父さまは ラモンに じゅうぶんの一を つかわないでほしいと 思っておられることが 分かっていました。ラモンは 家に むかって 歩き出しました。じゅうぶんの一を さいしょに はらおうと きめたのです。しゅが のぞんでおられるように じゅうぶんの一を はらい、そのシャツが 買えるように たまごを 売って もっとたくさん お金を えることにしたのです。■

じゅうぶんの一 けんきんひょう

じゅうぶんの一を はらうときは、とくべつな 紙に ひつようなことを 書きます。そして その紙と お金を もって ゆうびんきょくに 行き、教会に けんきんする お金を おくり ます。下の 絵を 見て、どのように 記入するのか 学んでみましょう。



とくべつな 紙には じゅうぶんの一の ほかに 何を 記入したら よいですか。そのほかに 教会に けんきんする 方法について お父さんや お母さんに 聞いてみてください。



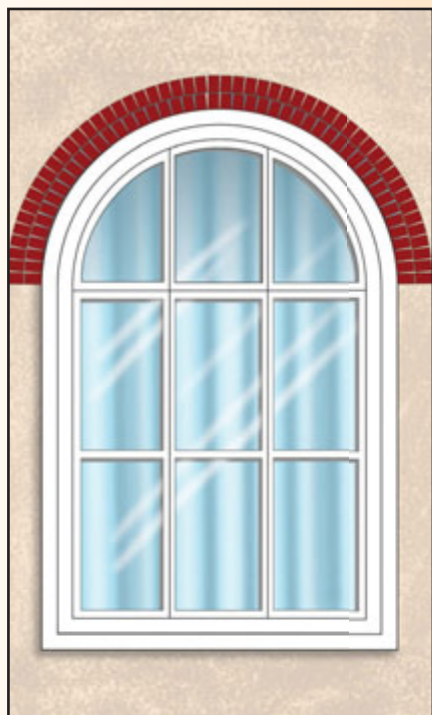
しんこうが つよ 強まる

CTRゲーム——
じゅうぶんの一の
しゅくふく

マラキは 旧約聖書の よげんしゃ
で、じゅうぶんの一を はらうと
き 天の まどが ひらいて あふれる
めぐみを わたしたちに ふりそそぐと
教えてくれました (マラキ 3:10 を見ま
しょう)。かぞくで じゅうぶんの一の
いましめに したがったことで えられた
しゅくふくについて 話し合ひましよう。
一つ一つの しゅくふくを あらわす
ために、まどの 上に、まめか、ポタ
ンか、小石を おきましよう。



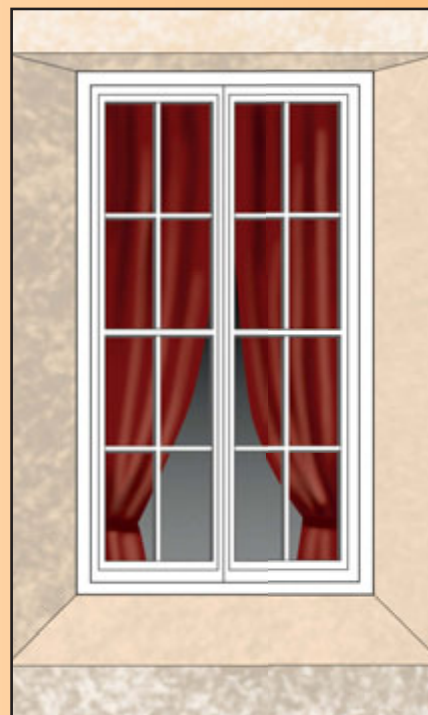
あかしが つよ 強まる



しゅを しんらいする



ふくいんに 生きる よろこび



じゅうぶんに あたえられている たべもの



カーリーのお気に入りの遊びの一つは、
運動場で友達と探し物ゲームをすることです。



カーリーのための運動場

教会機関誌

チャド・E・ファレス

アメリカ合衆国、アイダホ州
レックスバーグに住んでい
るカーリー・Wは、お手伝
いに大いそがしです。カーリーは家族
が飼っているねこや犬、にわたりの世

話を手伝っています。カーリーは学校
で優秀な生徒の一人なので、ほかの
子の算数や音読を手伝っています。
初等協会では、カーリーの歌声によっ
てほかの子たちがみたまを感じやす
くなるようです。

カーリーがほかの人たちをとともよ
く助けてくれるので、今度は友達の何

人かがカーリーのことを助けてあげよ
うと決めました。

カーリーは、せきついひれつという
病気を持って生まれました。この病
気のために、カーリーは筋肉を思うよ
うに使うことができません。でこぼこ
の地面を歩いたり、階段を上ったり
するのが大変なときがあるのです。
運動場にある用具を使うことが難し
いため、カーリーは学校の運動場で
遊ぶことができません。運動場の用
具で遊べない子はほかにもいました。

「運動場で遊べないので、時々休み
時間になやな気持ちになっていらら
することがありました」とカーリーは
言っています。



カーリーは音楽が大好きです。
合唱部に入っていて、ピアノを習っています。

写真/クリスティナ・スミス

運動場の
ゴム製のゆかのおかげで
カーリーにとって
歩きやすくなりました。



カーリーとハリー・ジョー（右）は
一緒にお人形で遊んだり、外を散歩したり、
ぬり絵をしたりするのが好きです。

カーリーの友達一人のハリー・
ジョーとハリーのお母さんがお金を集
めて、カーリーとほかの子供たちみな
が学校で遊べる運動場を作ろうと
決意しました。

ハリー・ジョーとハリーのお母さん、
それにほかにもたくさんの人たちが新
しい運動場のお金を得るために協力
しました。とても大変でしたが、子供
たちみんなが遊べる新しい運動場を
作るのに十分なお金を得られました。

「大変なことがたくさんありました。
でもつらいと思っただけは一度もあ
りません。それより、もっとカーリーが
大好きになりました」とハリー・ジョー
は語っています。

カーリーは友達と一緒に運動場で
遊べるようになったことがうれしくてた
まりません。カーリーは次のように
言っています。「階段を登ってすべり
台をすべるのが好きです。友達と
一緒に楽しんでいます。」■



カーリーについて

カーリーは「ニーファイの勇氣」
（『子供の歌集』64）を歌うの
が好きです。

カーリーはチキンスティックとサン
ドイッチを食べるのが好きです。

カーリーはどこに行っても歌って
います。

カーリーはだれとでもすぐに友達に
なります。



カーリーは
体のバランス感覚を身に付けるために
乗馬をしています。

リトルリーグから 学んだこと

「わたしのすてきな^{かぞくのぞ}家族の^{のぞ}望み
固く^{かた}いつまでも^{むす}結ばれたい」
(『子供の歌集』98)



リンゼー・スティーブズ

実話をもとに書かれました。

「な ぜわたしがここになくちゃいけないの」と、リンゼーが不満そうにつぶやきました。

するとお母さんが「弟を応援してやらないといけないでしょ」と言いました。

「でもすぐつまらない。あの子のことなんかほとんど見ていないし」と、リンゼーは言いました。

リンゼーの弟のマイケルが野球のリトルリーグのチームに入ってからというもの、お母さんは、練習や試合のたびにリンゼーを連れ出すのです。ところがリンゼーはいつも退屈でたまりません。マイケルが必死にヒットを打とうと頑張っているときに、リンゼーは音楽を聞いたり、本を読んだり、小さな妹のために絵をかいてやったりしていました。

外野の守備についている弟を見てリンゼーはため息をつきました。マイケルはボールを追って走ったものの、取りそこねたうえに、投げる相手も間ちがえてしまったのです。

「マイケル、その調子よ! 最高!」と

お母さんが大きな声をかけました。

「でもお母さん、マイケルは、へまばかりしているじゃない」とリンゼーが言いました。

するとお母さんはこう言いました。「リンゼー、だからわたしたちはここに居るのよ。ずっと応援してあげるの。特に、まずいプレーをしたときはね。もしわたしたちがいなかったら、自分はだめだと思いきんで、努力するのをやめてしまいかもしれないでしょ。お母さんはマイケルにあきらめないで頑張ってもらいたい。あなたにずっと絵を頑張ってもらいたいのと同じようにね。」

「絵画教室でだれも応援なんかしてくれなかったっていいわ。絵の具を混ぜ合わせていい色が出たときに、マイケルが『おねえちゃん、やったね!』って言うってくれるわけでもないし」とリンゼーが言いました。

「それはそうだけど、あなたが絵を見せると、マイケルはいつもほめてくれるでしょ」とお母さんが言いました。

そう言われてリンゼーは考えてみました。お母さんが自分を車で絵画教室に送ってくれるとき、マイケルは友達と遊びたいのをがまんして、よく車と一緒に乗って来なければならなかったことを

思い出したのです。ふと外野のマイケルに目をやると、相手チームのバッターが打ったボールが一直線にマイケルのところに飛んで行くではありませんか。

「頑張っ、マイケル! 絶対取れるから!」リンゼーは声をからして声援を送りました。

マイケルはボールの落下点目指してまっしぐらに走って行って、グローブをつき出し、見事にボールをつかみました。

思わずお母さんと立ち上がったリンゼーは大喜びしながら、大声でこうさげびました。「やったー、マイケル! さすが、わたしの弟だわ!」

「そうさ、おねえちゃんの弟だもん!」はちきれそうな笑顔をかべながらマイケルが大声で言い返しました。

リンゼーも満面の笑みで席にもどりました。

「マイケルのことをよく見て、応援してあげないといけないわ。マイケルがボールをキャッチする瞬間って、最高だった。それにわたしが見ていたことがほんとにうれしかったみたいだし。さすがにわたしの弟ね。」リンゼーはそう思いました。

「お母さん、やっぱりお母さんの言うとおりでと思う。マイケルを応援してあげないといけないわね」とリンゼーが言いました。

するとお母さんはほほえんで「あなたがお母さんを変えてくれて、うれしいわ」と言いました。

「もっと応援しましょうよ!」とリンゼーが言い出しました。

「行け、マイケル、頑張れ!」リンゼーとお母さんは大きな声で声援を送りました。■

「弟や妹、兄や姉との関係を強めましょう。かれらはあなたのいちばん身近な友達になるはずですよ。かれらが関心のある事柄を追求できるように助け、直面している問題を解決できるように力になってあげてください。」

「若人の強さのために」14 - 15



ダナの しゅくふく

ジェーン・マクブライド・チョート
じつわ 実話をもとに書かれました。

1. ダナは 生まれつき くちびるから 口の 中に かけて あなが あいていました。それを なおすために、今までに 4回も しゅじゅつを うけました。今日 ダナは お父さんとお母さんと いっしょに、5回目の しゅじゅつについて おいしゃさんと 話を することに なっていました。

2. しゅじゅつの 後 どうなるのだろうと ダナは しんぱいになりました。

また ココアを のめるように なりますか。

口の 中が なおったら、
いくらでも のめますよ。

しゅじゅつの 後 あなたの 体が 強められ、
すぐに よくなるように しゅくふくします。
あなたの りょうしんと 天のお父さまが あなたを
とても あいしていることを わすれないでください。

しゅじゅつでは
この ほねを 少し とって、
口の 中に うめこみます。



3. しゅじゅつの 前の ばん、お父さんと おじさんが ダナにしんけんの しゅくふくを してくれました。ハイラムおじさんがダナの 頭に せいべつされた あぶらを そそいでくれました。それから お父さんが しゅくふくを してくれたのです。





4. よく朝 お父さんと お母さんは
 ダナを びょういんに
 つれて 行ってくれました。

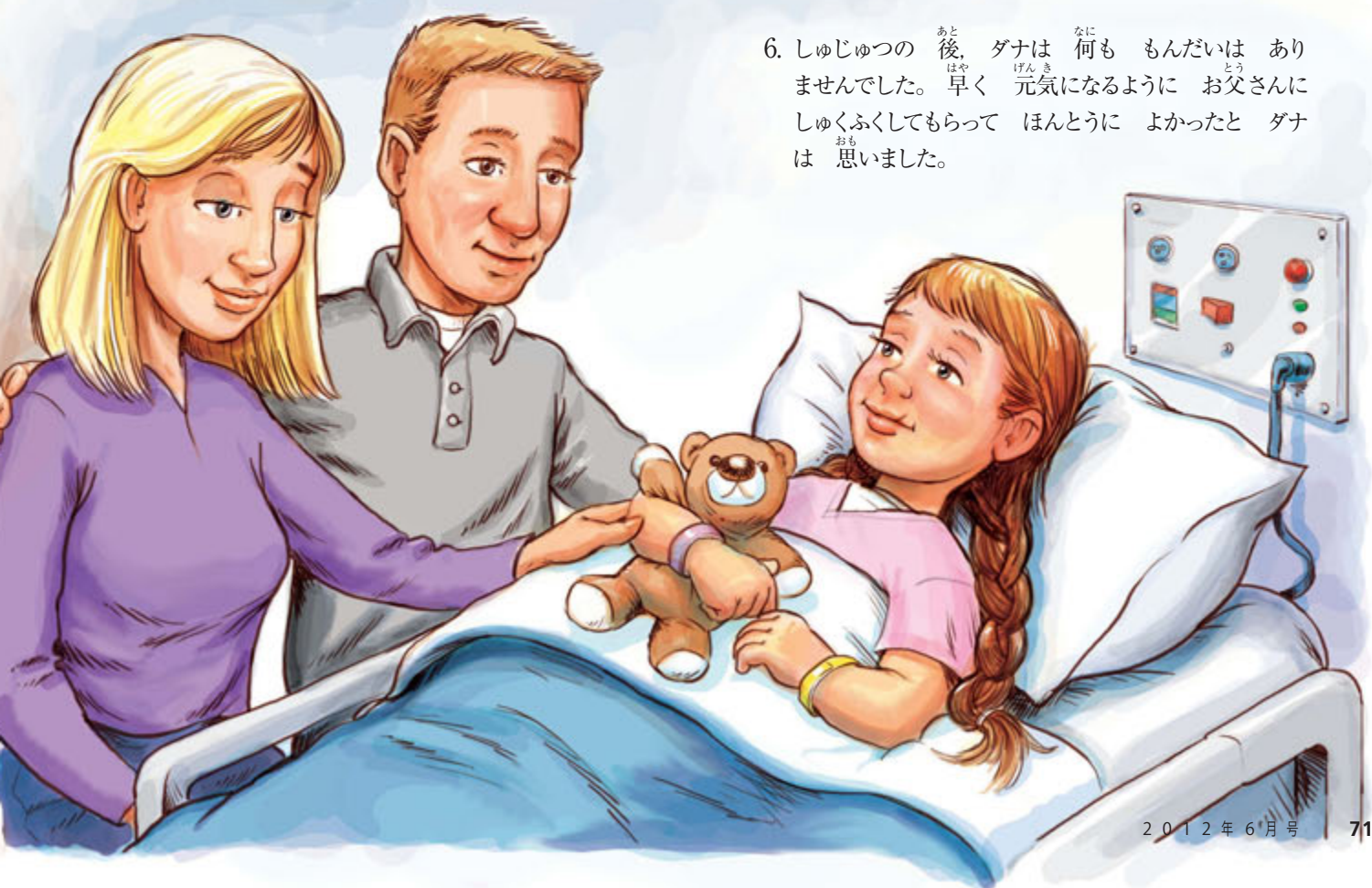
5. ダナを しゅじゅつしつに つれて行くために、かngo
 しさんが やって来ました。ダナは お母さんを だき
 しました。

ダナ、あいしているわよ。



お母さん、しんぱいしないで。
 わたし ちっとも こわくなんかないわ。
 お父さんが しゅくふくしてくれたもの。

6. しゅじゅつの 後、ダナは 何も もんだいは あり
 ませんでした。早く 元気になるように お父さんに
 しゅくふくしてもらって ほんとうに よかったと ダナ
 は 思いました。





しゅくふくを うけるときのために
ヒラリー・M・ヘンドリクス

しんけんの しゅくふくを うけるときは、おいのりを しているときと おなじように けいけんにして、しんこうを しめします。絵の 中から しゅくふくを うけるときに ふさわしいと 思うものに 丸をつけてください。



しゅくふくを うけるとき
ヒラリー・M・ヘンドリクス

しんけんの しゅくふくは いろいろ あります。赤ちゃんの ときに 名前を さずけてもらって、しゅくふくを うけた 人も いるでしょう。びょうきのときや けがを したとき、かなしいとき、こわいときに、しゅくふくを してもらうことができます。新学年を むかえる たびに しんけんの しゅくふくを うける 子どもも たくさん います。

絵を 見て、どうして この子たちは しんけんの しゅくふくを うけているのか 考えてみましょう。





わたしは ふくいんの げんそくを まもって ^{せいかつ}生活することで ^{せいぎ}せいを えらびます。

「わたしは ^い行って、しゅが ^{めい}めいじられたことを ^{おこな}行います。

しゅが ^{めい}めいじられることには、それを ^{なし}なすとげられるように ^{しゅ}しゅによって ^{みち}道が ^{そな}そなえられており、それだけでなく、しゅは ^{なん}何の ^{めい}めいれいも ^{ひと}人の ^ここらに ^{くだ}くだされないことを ^{しょう}しょうちしているからです。」(1ニーファイ3:7)

教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は news.lds.org にアクセスしてください。

9つの言語が加わった、障がいに関する教会ウェブサイトの公開

教会のニュースと出来事
メリッサ・メリル

2007年に lds.org/disability が英語版で最初に立ち上げられた際、それまで小冊子や手引き、その他ウェブサイトに散らばっていた情報が集約されたおかげで、「ヘルプ」や「アイデア」は主要サイト1か所ですべて閲覧しやすくなった。

2012年現在では、それらのリソース（10の障がいに関する情報と、その他様々なヘルプを含む）はさらに9か国語、すなわち中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語で利用可能である。

このサイトでごく最近発表されたものは、フランスのパリに住むバラン家のような家族にとって助けとなるものである。レイモンドとイサベルのバラン夫婦にはジェロームという長男がいるが、次男のジェレミーはダウン症児として生まれた。ジェレミーにこの診断が下されたことは両親にとってショックではあったものの——当時二人はダウン症についてほとんど知識がなかった——バラン家がジェレミーの障がいを通して経験したことは大半が良いものだった。バラン兄弟は、多くの人がジェレミーをとてまかわいがってくれたと語った。また、特

に教会の会員はジェレミーをいたわり愛と好意を示してくれたと言う。

バラン兄弟は、このウェブサイトがそういった気持ちを培う助けになると信じている。「このサイトから、教会の指導者や教師は障がいそのものを理解できるようになり、またそれぞれの状況に適した順応や対処の仕方が分かるようになるでしょう。」

しかし、そのサイトは情報提供というよりも、勇気をもらえる場として、障がい者とその家族にとっても同様に重要だとバラン兄弟は言う。

教会の障がいに関するサイトは、2012年から10の言語、すなわち中国語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語(以下に表示)、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語で利用できます。

「このサイトからは支援が得られるので、障がい者を持つ家族にとっては価値があるのです。ほかの人の経験や証^{あかし}を通じた物の見方を知ることで、将来に向けてより肯定的な考え方ができるようになります。こういったもろもろの理由から、この情報が異なる言語で利用できることは大切なのです。」バラン兄弟はこう語る。

教会の障がいサービスのアドバイザーを務める七十人のキース・R・エドワーズ長老は、バラン兄弟の意見に共感している。

「障がいのある会員とその家族、それに介護者は『人の不死



不滅と永遠の命をもたらす』という一つの目的のためにみんなが一丸となって働いていることが分かるでしょう。そしてその目的を果たすには『心一つにし、思い一つにし』なければならぬことに気づくでしょう」とエドワーズ長老は語った（モーセ1:39:7:18 参照）。「人々はどこへ助けを求めていったらよいのかを知り、理解するでしょう。そして主の教会があるべき姿で機能していれば、だれも孤独な闘いをする必要はないことに気づくでしょう。」

二分脊椎という病を持つポルトガルのファティマ・アルベスは、ウェブサイトのおかげでまさにその「孤独ではない」ということに気づいた。

「教会に障がい者を助けるサイトがあるということは、わたしにとって大切です。それは障がい者も教会員としての連帯感を持つてからです。教会が特別な状

況にある人々を心にかけて、彼らを助け、支援したいと望んでいることを知るのには役に立ちます。」ファティマはそう語る。

このサイトの公開は、教会がすべての会員に手を差し伸べるための取り組みの一環であると、エドワーズ長老は語った。

「主から受ける『責任』の一部は、あらゆる人に福音をもたらすことですが、相手が福音を実際に理解し、十分に活用できなければ意味がありません。意義深い福音の機会を提供するのですから、主の子供たちがどんな立場にあらうとも一人も見逃すことがないように願っています」とエドワーズ長老は述べた。

続けて長老は「そのサイトは個人を支援するばかりではありません。指導者が支援方法を知る助けとなるように、あるいは障がいのある会員と一緒に奉仕するのを助ける場合、どこで支援を得られるのか分かるように作ら

れたものです」と語った。

当然のことながら、そのサイトは教会員同士の個人的な直接の触れ合いに取って代わるものではない。

「年を追うごとに、教会では特別な必要に対応することについて様々な成功を見てきました」とエドワーズ長老は述べた。「成功の大半は、個人が変わろうと決意したときにやって来ました。すべての人を助ける鍵は、その人たちに障がいがあるとなかろうと彼らを愛すること、また手を差し伸べ援助するうえで御霊の導きを求めることにあります。

わたしたちは皆、自分を愛するように隣人を愛する責任があります（マタイ19:19 参照）。教会が提供しているのはあくまでも支援の道具であり、わたしたちはそれを通して理解し、主の御業に役立ちたいという望みを持つてようになります。」■

そのサイトがあるすべての言語で、幾つかの特集が載っている。

障がいのリスト——サイト内のこの部分では、障がいの詳細を10項目に分けて記し、それぞれ障がいのある人への支援方法についてアイデアを提供している。

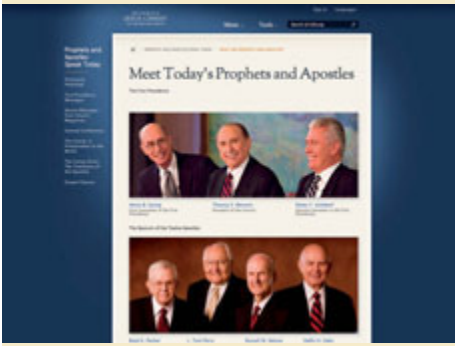
家族——このサイトでは障がいのある子供の家族に向けた情報を盛り込み、家族を強めるための提案をしている。

質疑応答——ここでは4つの区分、すなわち具体的な方法、教義と指針、リソース、統計に分け、よくある質問への答えを読者が見つけられるようになっている。

お知らせ——ここではサイトの要旨を述べたうえで、時に人は障がいに対して否定的な反応を示すことがあるが、各人の立場というものを学ぶことによって、理解と受け入れる気持ちを増すことができると指摘している。

指導者および教師——この項では、指導者と教師が障がいのある会員とともに働く際に留意するべき点を挙げている。

聖句と引用——ここにまとめた聖文と預言の言葉は、困難な立場にある人々への励まし、慰め、そして希望の源となることを意図している。



生ける使徒の 人物紹介を 新しく特集した Prophets.LDS.org

十二使徒定員会会員の新しい人物紹介は、prophets.lds.org上の「現代の預言者と使徒に会おう」という表示欄で2月から公表され始めた。大管長会の人物紹介は、2011年10月から当サイトで閲覧可能となっていた。人物紹介は、リソースが許すかぎり年間を通じて多数の言語に翻訳される。ほとんどの情報は、これまで『リアホナ』の中で様々な言語で発表されてきたものである。

「使徒の幼年期、学生時代、家庭生活、使徒に召される前の経歴について知るとき、その人生には主の御手が置かれていたことがわかります。そして、普通の男性や女性が王国で仕えるために、どのようにして主から召され大いなる者とされるのか、もう一つの証言となります。」七十人のポール・B・パイパー長老はそう語った。人物紹介にはそれぞれの指導者が人生で学んだ知識や出来事なども載るが、何より彼らが使徒として奉仕するまでの道のりを、主がどう備えられたのかを示されるものとなる。■

読者に総大会のハイライトを提供する「大会ノート」

機 関誌『リアホナ』と『エンサイン』(Ensign)に新しく定期掲載される「大会ノート」は、読者が生ける預言者と使徒が語った最近の総大会の説教から教えを学び、生活に取り入れることができるように助けてくれるものとなる。

2012年1月から始まったその欄には5月、6月、11月、12月を除いた年間8回、毎回一つのノートが掲載される。5月と11月は大会説教そのものの特集となる。

短い要約文、カラーイラスト、学習のヒント、関連聖句に加えて、大会ノート

には簡単な活動も提案されている。さらには会員の物語や、大会説教で答えられた福音の質問なども掲載される。

大会ノートの特集は、読者に最近の総大会で行われた説教を思い起こさせるものもあれば、次回の大会の部会に向けた備えとなるものもある。

それぞれの大会ノートは1ページから4ページほどで、機関誌『リアホナ』と『エンサイン』(Ensign)に定期掲載されている「小さな、簡単なこと」の欄に取って代わる。■

『リアホナ』と『エンサイン』(Ensign)の新しい「大会ノート」欄は、総大会後に大会の主要な部分を読者に思い起こさせる。



中央アメリカの聖徒に会うネルソン長老

「リアホナ」通信員
ホセ・ペーニャ

1月に大管長会からの割り当てを受けて、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は中央アメリカへ向かい、神権指導者の訓練および地元会員の指導に当たった。

エルサルバドル

1月14日土曜日、ネルソン長老はエルサルバドル・サンサルバドル神殿の敷地内の集会所で、エルサルバドル各地から来た神権指導者たちと集った。七十人会長会のL・ホイットニー・クレートン長老、七十人で中央アメリカ地域会長のエンリケ・R・ファラベラ長老、地域七十人のカルロス・リバス長老、ウォルター・レイ・ピーターセン神殿会長、そしてエルサルバドル・サンサルバドル伝道部のデビッド・L・グレイジャー会長が同行した。

ネルソン長老は教え導くことについて、またイスラエルの羊飼いであることの重要性について指導者たちを教えた。長老は聖文を研究することと、常に聖霊の導きを受けることの大切さを強調した。さらに、新しくスペイン語で出版されている末日聖徒版聖書の祝福についても触れた。

翌日、ネルソン長老は妻のウェンディー姉妹とリバス長老を伴って、エルサルバドル・サンサルバドルのラリベルターステーキ大会を管理した。

ネルソン長老は話の中で、福音を實踐し、聖約を忠実に守るエルサルバドルの会員と指導者に使徒として祝福を残した。

ニカラグア

その後、2012年1月18日にネルソン長老は、ともに七十人であるエンリケ・R・ファラベラ長老とジェームズ・B・マルティノ長老と一緒にニカラグアの会員と集った。

長老は会員に、高潔さを増し家族歴史記録の作業を

続けるよう勧めた。長老は「皆さんに備えができたとき、主は御自分の役割を果たされ、神殿を与えてくださることを約束します」と述べた。

わたしたちは愛することから始めて、自分の心に救い主の特質を養う必要があるとネルソン長老は説いた。

「わたしたちは奉仕を通じて愛することを学ぶことができます。もう一つの特徴は、バプテスマと聖餐という儀式に心を向けることです。それらは救い主のはりつけにかかわることです」と長老は述べた。

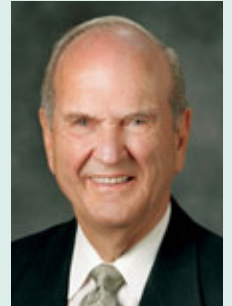
そのほかにネルソン長老が会員に身に付けるように言った習慣は、救い主が祈られたように祈ることと、聖文の研究を通じて知識を得ることだった。「子供たちに聖文を読み聞かせ、〔聖文〕に対する愛を培ってください。そうして〔学んだことを〕生活に取り入れていくうちに、間違いなく喜びを感じるようになります。」長老はそう語った。

最後にネルソン長老はこう述べた。「根気を養ってください。最後まで続ける根気です。イエス・キリストはほかのだれよりも大変な苦しみを経験されましたが、あきらめることはなさいませんでした。主は最後まで御父を信頼されました。皆さんが人生のチャレンジに直面したら、このことを思い出してください。」

終わりに当たって、ネルソン長老はニカラグアの会員の信仰、献身^{じゅうふん}、什分の一と献金に感謝の意を表し、贖い^{あがな}について証した。

「主の復活は、永遠の命への扉が開くことを保証してくださいました。わたしたちは信仰と悔い改めを通し、最後まで堪え忍ばばいいのです」と長老は語った。

教会の指導者や、その教えと働きについてさらに調べるには、news.lds.org および prophets.lds.org にアクセスしてください。



エルサルバドルとニカラグアの会員を訪問した際、ラッセル・M・ネルソン長老は福音を實踐し、聖約を忠実に守る人々を褒めたたえた。

改良されたサイト, 若い男性による 神への務めの達成に貢献

神への務めのウェブサイト (DutytoGod.Ids.org [英語]) が改訂され, 現在では双方向のオンラインツールとなっている。ここでは神への務めプログラムの中で, 若い男性がさらに効率よく新しい項目を始めたり, 進捗状況しんちよくをチェックしたり, それを保存することができる。

現在, 執事, 教師, 祭司は『神への務めを果たす——アロン神権者用』の冊子全体をオンラインの 50 言語で閲覧することができる。そして LDS アカウントでサインインすると, 日記を付けてプログラムを通じてどのように進歩したのか時系列で記録することができる。オンライン冊子一式には, 学習活動のすべてと聖文やその他のリソースへのリンクも掲載されている。

無料の音楽配信を拡大する 青少年のサイト

youth.Ids.org [英語] の音楽欄では, 無料でダウンロードができる楽曲数を増やしつつあるが, これらは過去の「若人のために」(EFY) メディアで採用された曲が, より多くの現代アーティストによって歌われている。追加は 2 月に始まり, 合計 30 曲が 1 週間に 1 曲の割合で追加される。

そのサイトは英語, ポルトガル語, スペイン語で利用できるようになっており, ポルトガル語とスペイン語の曲数を増やす計画が進められている。現在, そのサイト上の曲でジェニー・フィリップスの「強く, 勇気をもって」(Strong and Courageous) は, ポルトガル語とスペイン語で聴くことができる。■



写真: ミッシェル・サー、ブラジル・マカパ、アマパー地区広報部

50 人のモルモン・ヘルピングハンズのボランティアが, 2012 年 1 月 21 日土曜日に清掃や草取り作業を行い, ブラジル・マカパの公立学校マリア・イボネ・デ・メネゼスを活性化した。

ブラジル・マカパの 公立学校を活性化する モルモン・ヘルピングハンズ

教会員とその友人, および末日聖徒の宣教師から成る約 50 人のモルモン・ヘルピングハンズのボランティアが動員され, 2012 年 1 月 21 日土曜日にブラジル・マカパにあるマリア・イボネ・デ・メネゼス公立学校の清掃と草取りなどを行い, 活性化に助力した。

教育委員会の調整で, ブラジル・マカパのアマパー地区広報ディレクター, クレバール・セインツが計画したその活動は, 複数の地元報道機関から注目を浴び, 取材を受けた。そのプロジェクトに力を貸した学校長のアデリア・ダニンは, 「[教会]からの惜しみない貢献に喜んでいますが, この思い出はずっとわたしたちの心に残ることでしょう」と語った。

ロシア語で出版された 新しい三大聖典の合本

モルモン書, 教義と聖約, 高価な真珠を 1 冊に収めた新しい 3 大聖典の合本が, 今回ロシア語で入手できることになった。

その新版は地元の教会配送センターから, また store.Ids.org や, scriptures.Ids.org のオンラインから, さらに福音ライブラリーのモバイル申し込みから, 今すぐ入手可能である。今回のロシア語版の完成で, 3 大聖典の合本出版言語は 44 になる。

news.Ids.org にアクセスして, この話やその他の話についてさらに閲覧することができます。■

母親が話しかけてくれた言葉で

2011年10月号の『リアホナ』に掲載されたライア・マクラナハンの「あらゆる国語の民、民族に」の記事に感謝しています。母親が話しかけてくれた言葉で神の御言葉を学ぶことができるのは、どれほど祝福かを思い起こすことができました。この記事のおかげで、スロベニアの親しい友人に福音を紹介し、モルモン書を大切に思う気持ちを伝えるという経験が持てました。ありがとうございます！

アララン・エンブリー（イタリア）

試練の渦中に生まれた強さ

幾つもの試しを受けながらも、わたしは『リアホナ』の証や経験、メッセージを読んで強くなることができました。毎月その機関誌を受け取ると、夫とわたしは家庭の夕べの時間に大管長会メッセージを読んで、お互いの感想や学んだことを話し合います。天の御父はわたしを愛し、祈りにこたえてくださいます。御父が耳を傾けてくださることを知っています。

マルティタ・デ・エルナンデス（エルサルバドル）

ご意見、ご感想を liahona@ldschurch.org までお寄せください。掲載されるお手紙は、紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。■

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。

「断食によって霊的、肉体的に強められる」

10ページ——その記事を読んで、次の11ページに解説されている要点を分かち合ってください。断食は食事を抜くだけでなく、祈り、証を述べること、そして断食献金という行為を伴うことを指摘してください。断食によってどんな祝福を受けたか、家族に尋ねてもよいでしょう。また旧約聖書のエステル記第4章の話をつかち合ってもよいでしょう。

「促しに従って行動する」

20ページ——補足の「啓示が与えられる8つの目的」を読むか要約してください。それから記事にある物語を一つずつ読んで、その話の中での啓示の目的は何か話し合ってください。家族に、

いつどんなふうに御霊

を感じたか、今週注意

を払うように勧めてください。さらに学んだことを翌週に話し合うとよいでしょう。

「わたしは選択によりどこに至るのでしょうか」

56ページ——物語を読むか要約してから、ボイド・K・パッカー会長の引用を読んでください。間違いをしても悔い改めるという選択ができることを家族に思い起こさせてください。

「リトルリーグから学んだこと」

68ページ——「家族は永遠に」（『子供の歌集』98）を歌って始めてもよいでしょう。家族でその物語を読んでください。家族を支えるのはなぜ大切なのでしょう。家族が互いにもっと助け合うようになるにはどうしたらよいでしょう。



.....

家庭の夕べの愛と光

わたしは改宗して間もないころコロンビアに住んでいました。あるときワードのとても特別な家族が家庭の夕べに招待してくれました。家庭の夕べに参加したのはそれが初めてで、その場の愛と信仰の御霊に驚きました。

全員が集まると、祈って1週間の出来事を分かち合いました。話を終えると活動がありました。

部屋の明かりを消して、色紙のハートに短い言葉を書きました。全員が書き終わったら、明かりをつけて書いたものを並べました。あまり上手く書けなかった人や、全然できなかった人、わたしのようにとっても難しかった人といろいろでしたが、思うにわたしがいちばん下手でした。もちろん、そのレッスンはとても分かりやすいものでした。人生に福音の光がないときには、あらゆるものが暗くなり、ゆがんで困難になるということです。

このレッスンはわたしの心に深く伝わりました。そしてその日以来、福音の光に満ちた人生を歩むように努めてきました。特に自分の子供にとって模範になりたいと思ったからです。■

ディーナ・デル・ピラール・マエストレ（アメリカ合衆国、カリフォルニア州）

雷のような声、 静かな声

クリスティン・ボイス

伝道に出て間もないころ、夜中にわたしはすさまじい音で目が覚めました。初めは遠くから聞こえていましたが、近づくにつれてその音は大きくなり、間もなく家全体が揺れ始めました。しかし程なくして大きな揺れは収まり、とどろきも消えていきました。幸いなことにわたしは同僚から、その地域では地震がよくあることを事前に聞かされていました。何事もなかったように見えたので、寝返りを打って再び眠りに就きました。

真夜中の地震で目が覚めてから数週間後、あの日の朝早くに起きた別の地震について人々が話しているのを耳にしました。わたしには彼らの言っていることが分かりませんでした。わたしは何も聞こえませんでしたし、揺れも感じなかったからです。困惑したわたしは、その「地震」がいつ起きたのか尋ねました。そのときわたしは体を動かしていたかシャワーを浴びていたと思うのですが、地震が起きていたとは思っても寄りませんでした。最初の地震で目が覚めたので、起きるときに次の地震があれば気づくはずでした。

しかし、このときを皮切りにわたしには感じられない地震がその後も数多く発生したのです。わたしにはまったく感じる事ができなかったのです。人々は何をもって地震と言うのかと思いました。

わたしには感じられない地震の存在を知ってから8か月たったころ、日曜学校の教師が突然話を中断したかと思うと、「分かりますか、地震ですね」と言ったのです。わたし以外全員がうなずきました。わたしにはさっぱり分かりませんでした。ごう音もとどろきも聞こえませんでした。いすが揺れたわけでもなく、壁がきしむこともありませんでした。どうして地震だと言えるのでしょうか。

そこで、教師が地震を口にしたとき自分はどんな感じがしたのか思い返してみました。すると、ちょうどめまいがしたときのようにほんのわずかクラッとしたのを思い出したのです。あの微妙な感覚が地震なのでしょうか。

その教師のおかげで、そのとき以来わたしはかすかな揺れの地震に気づき、実際に地震が起きていることが分かるようになりました。ほんとうにわずかな揺れなので、体を動かしたり、シャワーを浴びたり、熟睡していたりすると気づかないことが分かりました。しかし、わずかなめまいに似た感覚やかすかな揺れに次第に気づくようになり、それが地震の現象であることがはっきりと分かるようになったのです。

その後わたしに新任の同僚が与えられました。ある日レッスンをしていると、女性が「あら、地震だわ」と言ったので、わたしもうなずきました。ところが同僚は、きょんとした表情でわたしたちを見るのです。そこでわたしはかすかに揺れる電灯を指しながら、「そのうちあなたもきっとわずかな揺れを感じられるようになるわよ」と言いました。



わたしが
気づかない地震を、
ほかの人は
どうして
感じる事が
できたのでしょうか。
その答えから、
わたしは単純に
地震学から
学ぶ以上の
教訓を得ることが
できました。

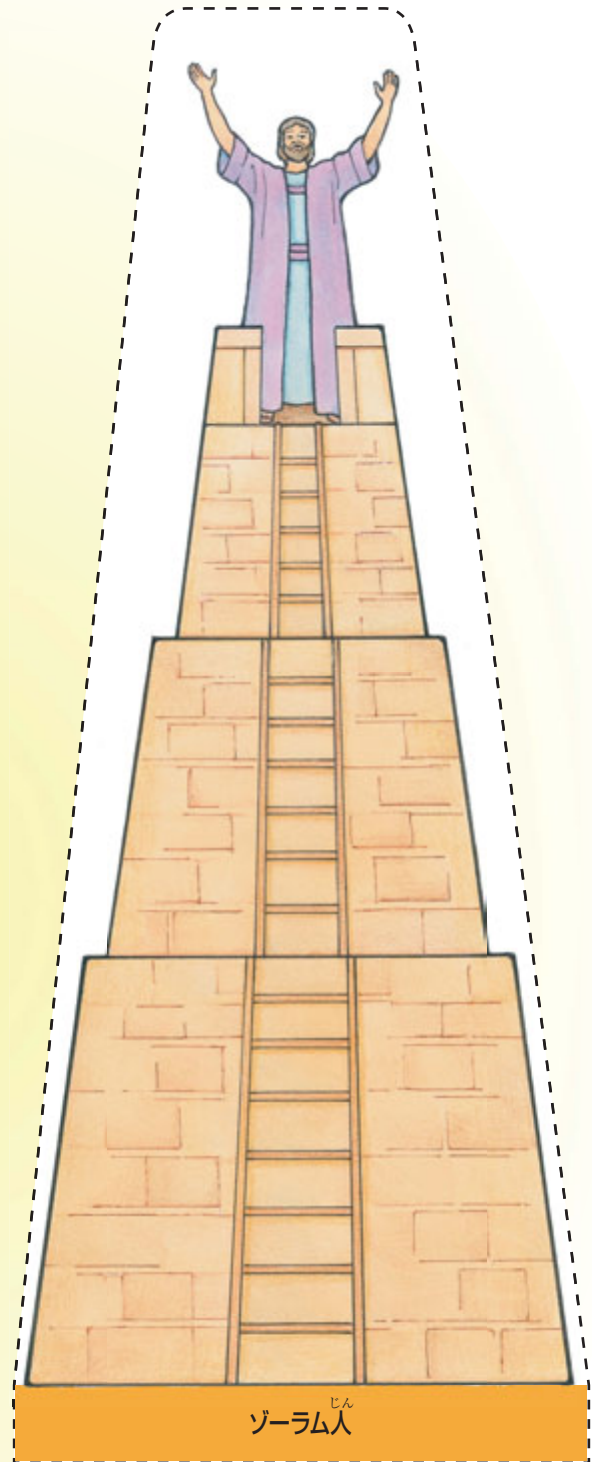
地震の体験から、御霊を認識することについて学べたことにとっても感謝しています。御霊が雷のような声でわたしたちの心を通じ、はっきりとそれを認識できることもあります。しかし多くの場合、御霊は静かなささやきという形でわたしたちに働きかけます。また、新しい考え方やひらめき、何をどう言えばよいかをふと感じることで与えられることもあります（ヒラマン5:30参照）。もし心が震えるほどの強い働きかけにしか気づけなかったら、御霊のきわめて穏やかな働きかけの多くを見逃してしまうこととなります。時にはほかの人からの指摘によって御霊を感じることも必要かもしれません。そうすることで神経を集中させ、御霊に波長を合わせることができるのです。それによってわたしたちはまったく新しい世界に目を向け、そのすばらしさを知ることができます。■



まずしい ゾーラム人^{じん}



アルマと せんきょうしたち



ゾーラム人^{じん}

ゾーラム人^{じん}と ラミアンブトム (せいだい)
アルマ書^{しょ}だい 31 - 32, 35 しょう

今年の『リアホナ』には モルモン書^{しょ}に とうじょうする じんぶつなどの 絵^えの セットが たくさん もりこまれます。 じょうぶで つかいやすく するために、それぞれの 絵^えを 切りぬき、ボール紙^{がみ}や あつ紙^{がみ}、小さな 紙^{かみ}ぶくろ、または 工作^{こうさく}用の ほうに、のりか テープで はってください。ふうとうや ふくろに それを まとめて しまっておきましょう。 そのとき、その じんぶつなどが モルモン書^{しょ}の どこに 出てくるか 分かるように ラベルを はっておくと よいでしょう。



十二使徒定員会会長のボイド・K・パッカー会長は、
次のように書いています。

「神権の内にある権能は聖任によって与えられます。
神権の内にある力は聖約を尊びながら
忠実で従順な生活を送ることによって与えられます。
義にかなって神権を行使し、用いることによって
その力は増し加えられるのです。」

「神権の誉れと位」28 ページ参照